令和元年度

事業報告書

社会福祉法人福島県社会福祉協議会

目　　次

【推進項目１】調査研究・提言活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
【推進項目２】自立に向けた援助活動
（１）生活困窮者の自立促進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
（２）低所得世帯への経済的支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
（３）矯正施設を退所した障がい者等の地域生活支援　・・・・・・・・・・　7
【推進項目３】福祉サービスの利用者支援
（１）日常生活の自立支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
（２）福祉サービスの第三者評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13
（３）福島県運営適正化委員会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
【推進項目４】広報啓発、情報提供活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
【推進項目５】ボランティア・住民参加活動
（１）ボランティア・市民活動の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
（２）高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進　・・・・・・・・・・・・　22
【推進項目６】福祉人材の確保・育成・定着に向けた支援　・・・・・・・・・　24
【推進項目７】社会福祉従事者の資質向上　・・・・・・・・・・・・・・・・　35
【推進項目８】社会福祉従事者の福利厚生の推進　・・・・・・・・・・・・　37
【推進項目９】市町村社会福祉協議会との協働・支援　・・・・・・・・・・　40
【推進項目 10】社会福祉施設等との協働・支援　・・・・・・・・・・・・・・　43
【推進項目 11】民生委員・児童委員、主任児童委員との協働・支援　・・・・　50
【推進項目 12】地域課題の解決に向けた社会福祉法人の公益的な取組の推進・　53
【東日本大震災及び原子力発電所事故からの復興に向けた支援活動】
（１）避難者の自立に向けた支援活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　55
（２）被災地における福祉・介護人材確保支援　・・・・・・・・・・・・・　59
組織基盤・財政基盤・事務局体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　62
令和元年東日本台風(台風第 19 号)災害に係る県内での支援活動　・・・・・　68
新型コロナウイルス感染拡大に係る本会の対応　・・・・・・・・・・・・・　72

＜基本目標１＞　変化する福祉ニーズの的確な把握と対応
【推進項目１】調査研究・提言活動

実施計画／実施項目／当年度実施内容 **事　業　報　告**
①調査研究活動の充実 ア）関係機関等と連携した調査研究活動の実施 公益的な取組に関する調査の実施（1回）
〔後掲〕市町村社協現況調査 **調査期間：5月10日～5月31日（調査基準日/平成31年4月1日）** **対　　象：59市町村社協** **調査項目：地域支援事業における社協の取組状況について** **成年後見制度への取組の推進について** **社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の実施状況について　等**
②提言活動の充実 ア）社会福祉施設・団体との連携・協働による提言活動の実施 総合企画委員会による制度要望・政策提言のとりまとめ（委員会2回　要望2回　6～9月）
１．総合企画委員会の開催 **【第1回】　期日：7月9日** **内容：令和2年度に向けた制度要望及び政策提言案の立案について** **【第2回】　期日：8月23日** **内容：令和2年度に向けた制度要望及び政策提言案の立案について** **【第3回】　期日：1月31日** **内容：県議会各会派に対する制度要望及び政策提言の結果について** **県社協の「地域における公益的な取組」について** **県社協　第５期活動推進計画について** **２．県議会各会派への制度要望及び政策提言活動の実施** **期日：9月3日** **会派：自由民主党福島県議会議員会、福島県議会県民連合議員会、公明党福島県議会議員団、** **日本共産党福島県議会議員団** **３．令和2年度予算編成に対する県保健福祉部への要望活動** **期　日：9月5日** **提出先：県保健福祉部**
社会福祉関係団体の予算要望及び政策提言のとりまとめ（要望1回　9月）
社会福祉関係団体からの予算要望及び政策提言をとりまとめ、上記３の活動と共に県保健福祉部へ提出。

＜基本目標２＞　その人らしい生活・自立への支援

【推進項目２】自立に向けた援助活動

（１）生活困窮者の自立促進

実施計画／実施項目／当年度実施内容／

事　業　報　告

①生活困窮者の自立支援

ア）広報・周知、対象者把握の充実

管内町村・社協・その他関係機関への説明・研修の実施（随時）

１．事業説明

・民生児童委員協議会

楢葉町、飯舘村、富岡町、新地町、川俣町、浅川町、大玉村

・中堅民生委員児童委員研修（県民生児童委員協議会主催）

県内３方部　受講者 400 名

・各種会議研修等

管内町村生活保護担当者会議・生活保護受給者等就労自立促進協議会

県青少年支援協議会各地域連絡会会議・避難者生活支援相談センター月例報告会

東北福祉大学総合マネジメント学部・楢葉町地域包括ケア会議

２．リーフレット・ポスターの作成（リニューアル）と配布

・全体版：リーフレット 7,000 部、ポスター500 部

【新規】・家計改善支援事業版：リーフレット 3,000 部

イ）自立相談支援の実施

相談窓口の設置（随時　通年）

県より県内 46 町村の事業を受託し、自立相談支援機関として４事務所体制で事業を実施。今年度より家計改善支援員１名を配置（本部副所長兼務）。

事務所名	（所長・副所長） 主任相談支援員	相談・就労支援員	家計改善支援員	計
県北（本部）	（所長１名･副所長１名） １名	２名	１名 （副所長兼務）	５名
県中・県南	１名	５名	―	６名
会津（南会津も含む）	１名	４名	―	５名
相双	１名	２名	―	３名
計	６名	13 名	１名（兼務）	19 名

支援調整会議の開催（随時）

１．支援調整会議　184 回開催

【県北】全 21 回開催

桑折町 10、国見町 2、川俣町 6、大玉村 3

【県中・県南】全 109 回開催

平田村 10、天栄村 4、浅川町 6、鏡石町 11、古殿町 5、石川町 9、小野町 5

玉川村 1、三春町 11、西郷村 6、矢吹町 9、泉崎村 5、中島村 2、棚倉町 8、

矢祭町 10、塙町 5、鮫川村 1、その他 1、

【会津】全 32 回開催

北塩原村 4、会津坂下町 3、猪苗代町 3、西会津町 3、会津美里町 4、磐梯町 2

湯川村 2、柳津町 2、三島町 1、下郷町 3、南会津町 5

【相双】全 22 回開催
広野町 2、楢葉町 3、富岡町 1、川内村 2、浪江町 2、新地町 12
２．支援計画策定（新規・再プラン）
【県北】57 件【県中・県南】99 件【会津】83 件【相双】36 件　　合計 275 件

４事務所連絡会議の開催とケース検討会の開催

１．各事務所主任相談支援員による連絡会議を主に毎月最終月曜日に開催し課題検討や情報の共有を図る。全１１回開催。
２．生活自立サポートセンター職員事例検討会（あんしんサポート担当職員事例検討会と同時開催）
全５回開催。

一時生活支援事業の継続実施と居住支援充実の検討

１．一時生活支援事業利用者
【県北】8 件　【県中・県南】8 件　【会津】2 件　【相双】6 件　　合計　24 件
２．福島県居住支援協議会あんしん居住専門部会構成員。

緊急的支援事業の実施

１．フードバンクの提供（随時）
生活協同組合連合会との協定により、本事業対象者に食料等の提供を行う。
提供全件数　　484 件　　※件数はのべ件数
県北事務所　　89 件　　県中・県南事務所　169 件
会津事務所　　172 件　　相双事務所　　54 件
〔後掲〕２．生計困難者自立支援事業の実施
生活困窮者自立相談支援事業対象者の日常生活、社会生活及び就労に関する自立促進のため現物給付を基本とする支援。
対象全件数　　112 件　　※件数はのべ件数
県北事務所　　26 件（緊急 16 件　就職準備 10 件）
県中・県南事務所　59 件（緊急 28 件　就職準備 31 件）
会津事務所　　12 件（緊急 9 件　就職準備 3 件）
相双事務所　　15 件（緊急 6 件　就職準備 9 件）

【新規】家計改善支援事業の実施

本年度より家計改善支援事業を実施。
利用者【県北】6 件　【県中・県南】1 件　【会津】1 件　【相双】2 件　　合計　10 件

ウ）関係機関・団体との連携
管内町村・社協・その他関係機関との連携強化（随時）

県内 6 地域ごとに生活困窮者自立支援制度における関係機関等の連携強化、地域資源活用を目的とした連絡協議会を開催。
期日会場：県北 2 月 17 日（福島市・県総合社会福祉センター）、県中 2 月 19 日（須賀川市・市役所）
県南 2 月 20 日（白河市・市中央福祉センター）、会津南会津 1 月 30 日（会津美里町・役場）
相双 1 月 16 日（南相馬市・原町区福祉会館）
のべ参加者：160 名
講義：「生活困窮者自立支援事業が担う協働の中核」
講師：東北福祉大学　教授　阿部裕二　氏・准教授　森　明人　氏（地域福祉アドバイザー）

研修会等の開催

１．自立相談支援機関等職員研修会

期日：9 月 3 日　　会場：県男女共生センター　　参加者：82 名

講演：「生活困窮者自立支援法の改正と支援者としての心構え」

演習：「相談援助に求められるものとは。」ワールドカフェ方式

２．生活自立サポートセンター職員研修

期日：9 月 4 日　　会場：県男女共生センター

救急救命講座及び業務遂行にかかる関係帳票等の作成の確認。

会議・研修会等への参加（随時）

１．自立相談支援事業従事者養成研修（国主催）への参加

主任相談支援員養成研修　会津事務所　主任相談支援員 1 名

相談支援員養成研修　県中・県南事務所　相談就労支援員 1 名

就労支援員養成研修　県北事務所　相談就労支援員 1 名

家計改善支援員養成研修　本部　家計改善支援員 1 名

２．関係会議・研修会等への参加

福島県生活保護受給者等就労自立促進協議会

相談援助面接研修（初級）3 名・相談援助面接研修（中級）2 名・相談援助面接研修（記録）4 名

生活困窮者自立支援全国研究交流大会（11 月 3 日～4 日・宮城県仙台市）5 名

生活困窮者自立支援北海道・東北ブロック研修会（1 月 17 日・宮城県仙台市）3 名

生活困窮者自立相談支援事業　相談受付・支援実施の内訳　（令和２年３月末日現在状況）

		県北	県中県南	会津	相双	合計
相談受付総数（同意なし・あり含む）		113	355	152	59	679
支援決定・確認件数（再プラン含む）		57	99	83	36	275
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標にしている）		15	52	40	15	122
法に基づく事業等利用	住居確保給付金	0	1	0	0	1
	一時生活支援事業	8	8	2	6	24
	家計改善支援事業	6	1	1	2	10
	就労準備支援事業	0	0	0	0	0
	認定就労訓練事業	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	11	72	32	0	115
	生活福祉資金による貸付	4	6	2	1	13
	生活保護受給者等就労自立促進事業	14	19	18	0	70
就労開始（一般就労）		16	17	21	7	68
就労収入増加		13	20	24	6	63

＜基本目標２＞　その人らしい生活・自立への支援
【推進項目２】自立に向けた援助活動
（２）低所得世帯への経済的支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容

事　業　報　告

①生活福祉資金貸付事業の実施

ア）生活福祉資金貸付事業の実施

生活福祉資金及び臨時特例つなぎ資金の貸付実施（随時　通年）

１．資金の貸付の実施　　※（　　）内は前年度同期

（１）総合支援資金　※金額には、増額決定分を含む

①生活支援費	決定	2件	840,000円	（4件　1,538,000円）
②住宅入居費	決定	1件	218,800円	（0件　0円）
③一時生活再建費	決定	0件	0円	（0件　0円）
	〔合計〕	3件	1,058,800円	（4件　1,538,000円）

（２）福祉資金

①福祉費	決定	45件	9,644,000円	（33件　10,542,000円）
②緊急小口資金	決定	356件	33,888,000円	（195件　12,268,000円）
内、台風特例	決定	123件	15,530,000円	※11月11日～3月31日
コロナ特例	決定	49件	7,660,000円	※3月25日～3月31日
	〔合計〕	401件	43,532,000円	（228件　22,810,000円）

（３）教育支援資金　決定　67件　38,142,000円（78件　55,142,000円）

（４）不動談担保型生活資金

決定　1件　12,012,000円（0件　0円）

（５）要保護世帯向け不動談担保型生活資金

決定　1件　6,580,000円（1件　3,822,000円）

（６）臨時特例つなぎ資金

決定　18件　681,000円（16件　510,000円）

生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催（12回　毎月1回）

【第1回】期日：4月23日
内容：審査事項　要保護世帯向け不動産担保型生活資金借入申込者への貸付について
報告事項　平成30年度生活福祉資金の貸付状況について

【第2回】期日：8月27日
内容：審査事項　生活福祉資金（福祉資金）借入申込者への貸付について

【第3回】期日：10月23日
内容：審査事項　①不動産担保型生活資金借入申込者への貸付について
②要保護世帯向け不動産担保型生活資金借受人の不動産の再評価について

【第4回】期日：12月24日
内容：審査事項　不動産担保型生活資金借受者への増額貸付について

【第5回】期日：2月25日
内容：審査事項　生活福祉資金（福祉資金）借入申込者への貸付について

市町村社協担当職員研修会の開催（2回　6月・12月）

【第1回】期日：5月27日　参加者：52名（県総合社会福祉センター　福島市）
【第2回】期日：12月3日　参加者：40名（県総合社会福祉センター　福島市）

イ）適正な債権管理

滞納債権の管理（随時　通年）

１．債権管理の強化

（１）滞納債権償還督促通知の送付

【第１回】期日：5 月 17 日

①生活福祉資金	1,504 件
②総合支援資金	788 件
③離職者支援資金	51 件
④臨時特例つなぎ資金	66 件

【第２回】期日：11 月 13 日

①生活福祉資金	1,526 件
②総合支援資金	780 件
③離職者支援資金	51 件
④臨時特例つなぎ資金	66 件

（２）滞納世帯に対する償還指導（債権件数）

①電話による対応	386 件	※発信
②借受世帯訪問	1,469 件	
③償還滞納世帯面接会	2 件	

（３）宛先不明世帯の住所等調査　2,166 件

（４）償還猶予の実施　8 件

（５）償還免除の実施　158 件（内、緊急小口資金（特例貸付）116 件）

27,387,844 円（内、緊急小口資金（特例貸付）13,290,090 円）

緊急小口資金（特例貸付）の債権管理（随時　通年）

１．償還等に関する電話相談　829 件

２．宛先不在世帯の住所等調査　1,444 件

３．滞納債権償還督促通知の送付

【第１回】期日：8 月 1 日　送付数：10,058 件

【第２回】期日：12 月 5 日　送付数： 9,898 件

【第３回】期日：3 月 5 日　送付数： 5,338 件　※一度も償還のない債権のみ

４．償還免除の実施（再掲）：116 件、13,290,090 円

ウ）関係機関・団体との連携

会議・研修会等への参加（随時）

１．生活福祉資金担当部課長会議（4 月 25～26 日　東京都）

２．北海道・東北ブロック生活福祉資金貸付事業運営協議会（11 月 18～19 日　福島県）

※令和元年東日本台風(台風第 19 号)により開催中止

＜基本目標２＞　その人らしい生活・自立への支援
【推進項目２】自立に向けた援助活動
（３）矯正施設を退所した障がい者等の地域生活支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容

事　業　報　告

①特別調整対象者等への支援
ア）コーディネート業務（随時　通年）
イ）フォローアップ業務（随時　通年）

１．特別調整対象者等の依頼人数

27 名【高齢 12 名(内 認知 0 名)、知的 9 名、精神 5 名、身体 1 名】

※県内保護観察所からの依頼　23 名、県外地域生活定着支援センターからの依頼　4 名

２．退所後の受入先帰住（平成 30 年度特別調整対象者も含む）

22 名【高齢　16 名(内 認知 1 名)、知的 5 名、精神　1 名】

特別養護老人ホーム	養護老人ホーム	ｻｰﾋﾞｽ付き高齢者住宅	障がいｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ	自立準備ホーム 更生保護施設	無料低額宿泊所	ｱﾊﾟｰﾄ等	その他（移管）
1 名	1 名	3 名	5 名	6 名	2 名	3 名	1 名

３．面接・支援実施状況（面接、訪問調整等）

矯正施設面接	市町村（行政）	相談事業所	受入施設等	その他訪問	退所後対応	合計
113 回	14 回	5 回	8 回	19 回	67 回	226 回

４．相談支援ケース

20 ケース

保護観察所等との特別調整対象者にかかる連絡会議の開催

１．高齢又は障害等を有するために自立が困難な受刑者等への地域生活定着促進事業等にかかる関係機関連絡会議（4 月 18 日、5 月 21 日、6 月 25 日、7 月 24 日、8 月 27 日、9 月 17 日、10 月 29 日、11 月 22 日、12 月 23 日、1 月 24 日、2 月 20 日：福島市）

特別調整対象者等の支援調整会議及び関係会議におけるアドバイザー事業の実施

随時実施・開催

②障がい等があるがゆえに罪を犯してしまった方の理解や支援体制の構築
ア）関係機関連絡会議等による周知
地域関係機関連絡会議の開催

１．地域関係機関連絡会議の開催（7 月 11 日　福島市）

運営推進委員会の開催

１．福島県地域生活定着支援センター運営推進委員会（2 月 19 日　福島市）

イ）セミナー・研修会等による周知や専門的支援体制の構築
矯正施設を退所した高齢者・障がい者の地域生活支援研修会

１．第６回矯正施設を退所した高齢者・障がい者の支援研修会（3 月 6 日　郡山市）

※新型コロナウィルス感染拡大防止のため開催中止

広報啓発活動

１．会議・研修等での周知活動

（１）生活保護・生活困窮者担当課長・査察指導員会議（4 月 12 日　福島市）

（２）障がい児者福祉施設協議会総会（5 月 20 日　郡山市）

（３）地域包括・在宅介護支援センター協議会総会（5 月 27 日　郡山市）

（４）福島県県弁護士会　刑事法制委員会（10 月 25 日　福島市）

（５）福島県矢吹しらうめ荘研修会（11 月 21 日　矢吹町）

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容

地域生活定着支援センター関係会議等の開催・参加

１．全国地域生活定着支援センター協議会理事会・総会（6 月 28 日　東京都）

２．北海道東北ブロック地域生活定着支援センター所長会議（7 月 17 日　仙台市）

３．全国地域生活定着支援センター協議会情報セキュリティ部会（8 月 29 日　東京都）

４．岩手県地域生活定着支援研修会（9 月 6 日　岩手県）

５．全国地域生活定着支援センター協議会　政策実務部会（9 月 10 日　東京都）

６．地域生活定着支援センター社協関係者連絡会議（9 月 25・26 日　高知県）

７．全定協　北海道・東北ブロック研修会（12 月 19 日～20 日　仙台市）

８．全定協　北海道・東北ブロックセンター長会議・事例研修会 1 月 15 日　札幌市）

９．北海道・東北管内「刑務所出所者等に対する福祉支援に係る事例研究会」（1 月 16 日　札幌市）

10．全国地域生活定着支援センター協議会　政策実務部会（3 月 16 日　東京都）

11．全国地域生活定着支援センター協議会　実務検討委員会（3 月 16 日　東京都）

その他の関係会議・研修等への参加

１．「社会を明るくする運動」福島県推進委員会（4 月 24 日　福島市）

２．再犯防止シンポジウム２０１９（7 月 13 日　東京都）

３．東北地方再犯防止シンポジウム（10 月 15 日　仙台市）

４．福島県再犯防止推進計画策定検討会（1 月 28 日　福島市）

生計困難者自立支援事業

〔後掲〕地域生活定着支援事業対象者の日常生活、社会生活及び就労に関する自立促進のため現物給付を基本とする支援。

緊急的支援　　3 件（医療費・生活用品　等）

＜基本目標２＞　その人らしい生活・自立への支援
【推進項目３】福祉サービスの利用者支援
（１）日常生活の自立支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容

事　業　報　告

①市町村社協との連携

ア）担当者会議等の開催

市町村社協への業務委託（通年）

全市町村社協へ業務を委託

市町村社協連絡会議の開催（1 回）

期日：6 月 11 日　　会場：県総合社会福祉センター　　参加者：42 名

内容：報告・説明（平成 30 年度事業実施状況、令和元年度事業実施内容等）、実践報告（あんしんサポート及び成年後見事業実施社協の取組）、グループ討議（事業実施における課題と改善方法、成年後見制度利用を進めるうえでの課題等）

市町村社協への現地支援及び相談対応、契約等支援（随時　通年）

１．現地での業務支援

浪江町社協（8 月 1 日）、南相馬市社協（1 月 20 日）

２．事務処理等の現地確認　※12 市町村社協

川俣町社協（5 月 13 日）、大熊町社協（9 月 11 日）、塙町社協（12 月 9 日）、
喜多方市社協（12 月 16 日）、会津坂下町社協（12 月 16 日）、平田村社協（12 月 18 日）、
小野町社協（12 月 18 日）、南相馬市社協（1 月 20 日）、須賀川市社協（1 月 22 日）、
鏡石町社協（1 月 22 日）、中島村社協（1 月 24 日）、矢吹町社協（1 月 24 日）

契約締結審査会の開催（6 回　隔月）

契約締結能力に疑義があるケースについて専門的見地から審査会を開催し適切な支援に努める。

合計　　契約ケース 115 件、解約ケース 114 件、協議 10 件

【第 1 回】　5 月 14 日
内容：平成 31 年 3 月～4 月の契約ケース 25 件、解約ケース 26 件、協議 2 件

【第 2 回】　7 月 9 日
内容：令和元年 5 月～6 月の契約ケース 22 件、解約ケース 13 件、協議 1 件

【第 3 回】　9 月 10 日
内容：令和元年 7 月～8 月の契約ケース 16 件、解約ケース 14 件、協議 3 件

【第 4 回】　11 月 12 日
内容：令和元年 9 月～10 月の契約ケース 20 件、解約ケース 20 件、協議 0 件

【第 5 回】　1 月 14 日
内容：令和元年 11 月～12 月の契約ケース 13 件、解約ケース 16 件、協議 2 件

【第 6 回】　3 月 10 日　　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催
内容：令和元年 1 月～2 月の契約ケース 19 件、解約ケース 25 件、協議 2 件

県への予算確保の要望活動の実施（1 回）

１．県議会各派への制度要望及び政策提言活動の実施（9 月 3 日）

２．令和２年度県予算編成に対する県保健福祉部への要望活動の実施（9 月 5 日）

②相談しやすい体制づくり

ア）市町村社協担当職員等の相談援助技術向上

市町村社協新規担当職員等業務内容説明会の開催（1 回）

期日：4 月 10 日　　会場：県総合社会福祉センター　　参加者：32 名

内容：あんしんサポートと成年後見制度の概要、あんしんサポート社協専門員の業務内容

担当職員研修会の開催（1 回）

あんしんサポート事務手続き等検討会議

期日：8 月 6 日　　会場：県総合社会福祉センター　　参加者：6 名

内容：事務手続き等検討内容及びスケジュール、各市町村社協における事務効率化したい内容　等

事例検討会の開催（6 回　隔月）

実践の振り返りと担当者間の事例の共有により、課題対応力の向上を図る。契約締結審査会の際に開催。

【第 1 回】5 月 14 日　参加者 23 名　　【第 4 回】11 月 12 日　参加者 20 名

【第 2 回】7 月 9 日　参加者 24 名　　【第 5 回】1 月 14 日　参加者 16 名

【第 3 回】9 月 10 日　参加者 23 名　　【第 6 回】3 月 10 日

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

【一部新規】生活支援員新規委嘱者研修会の開催（随時　通年）

新規生活支援員への事業理解を図るため、事業の基本的内容の研修実施。　（参加者計　37 名）

川俣町社協（5 月 13 日）参加者 1 名、塙町社協（12 月 9 日）参加者 1 名

いわき・相双地区（2 月 4 日）参加者 8 名、県中・県南地区（2 月 7 日）参加者 11 名

県北地区（2 月 10 日）参加者 7 名、会津・南会津地区（2 月 14 日）参加者 9 名

生活支援員実働者研修会の開催（1 回）

期日：7 月 30 日（ビッグパレットふくしま）　　参加者：76 名

内容：あんしんサポートと成年後見制度の現況、精神障がいの理解と支援方法（講義・演習）

イ）本事業の理解を促進するための周知活動

県民、関係機関・団体等への制度周知（随時　通年）

1．新任訪問介護員研修（県社協主催：6 月 19 日）参加者：44 名

2．双葉町民児協研修（6 月 26 日）参加者：20 名

3．心配ごと相談事業研修会（大熊町社協主催：9 月 11 日）参加者：58 名

4．猪苗代町社協、猪苗代福祉会等職員学習会（10 月 4 日）参加者：10 名

5．福祉関係者のための成年後見活用講座（県社会福祉士会主催：10 月 15 日）参加者：50 名

6．成年後見制度市民後見人養成講座（南相馬市社協主催：11 月 13 日）参加者：12 名

7．権利擁護・ほっとネット協力員養成講座（相馬市社協主催：2 月 17 日）参加者：8 名

③成年後見制度の利用促進

ア）日常生活自立支援事業と成年後見制度の周知

【新規】成年後見制度担当職員研修の開催（2 回　9 月、11 月）

【第 1 回】　期日：11 月 18 日　　会場：県農業総合センター　　参加者：76 名

内容:成年後見制度の概要･相談受付の実際､成年後見実務におけるチーム支援(講義･演習)

【第 2 回】　期日：12 月 10 日　　会場：県農業総合センター　　参加者：48 名

内容：市町村成年後見制度利用促進計画策定の意義と効果、関係者間の連携（講義･演習）

権利擁護を啓発するための周知活動（随時　通年）

〔再掲〕関係機関・団体からの要請によりあんしんサポート並びに成年後見制度の説明を実施。

１．新任訪問介護員研修（県社協主催　6 月 19 日）参加者：44 名
２．双葉町民児協研修（6 月 26 日）参加者：20 名
３．心配ごと相談事業研修会（大熊町社協主催　9 月 11 日）参加者：58 名
４．猪苗代町社協、猪苗代福祉会等職員学習会（10 月 4 日）参加者：10 名
５．福祉関係者のための成年後見活用講座（県社会福祉士会主催　10 月 15 日）参加者：50 名
６．成年後見制度市民後見人養成講座（南相馬市社協主催　11 月 13 日）参加者：12 名
７．権利擁護・ほっとネット協力員養成講座（相馬市社協主催　2 月 17 日）参加者：8 名

イ）社協の成年後見制度への対応支援
関係機関連絡会議の開催（1 回　9 月）等

１．あんしんサポート・成年後見制度等利用促進関係機関連絡会議
　あんしんサポート及び成年後見の利用促進を図るため、家庭裁判所・弁護士会・司法書士会・社会福祉士会・市町村行政等との会議を開催。
　期日：8 月 21 日（須賀川アリーナ）　参加者：52 名
　内容：各市町村におけるあんしんサポート・成年後見利用促進に向けた取組と課題に関する協議
２．須賀川市・鏡石町、天栄村社協成年後見制度利用促進に関する学習会（7 月 16 日）

ウ）成年後見制度利用促進に向けた取組の実施
【新規】成年後見制度利用に関する相談窓口の設置

新規に「成年後見サポートセンター」を設置し、支援を必要とする認知症や障がいのある方などの成年後見制度に関する相談を電話及び面談により受け付けた。
開設期間：平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
相談件数：40 件（電話 24 件、面談 16 件）

【新規】成年後見制度地域連携ネットワーク支援会議（仮称）の開催（2 回　7 月、11 月）

【第 1 回（県域会議）】
期　日：8 月 5 日　　会場：県総合社会福祉センター
出席者：21 名（県高齢福祉課、福島家裁、県弁護士会、リーガルサポートふくしま支部、県社会福祉士会、コスモス成年後見サポートセンター県支部、権利擁護センター・成年後見センター設置市町行政・社協〈福島市、いわき市、南会津町〉、県社協）
内　容：成年後見サポートセンター事業説明、県内の成年後見制度利用促進施策の進捗状況及び利用促進関係補助金、成年後見制度利用促進に係る三士会（弁護士会、司法書士会、社会福祉士会）連携協定内容、福島家裁成年後見制度利用促進方針及び本人情報シート活用、各関係機関の今後の事業計画等

【第 2 回（地域会議）】
期　日：11 月
※令和元年東日本台風(台風第 19 号)のため開催中止

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容
会議・研修会等への参加

１．都道府県・指定都市社協日常生活自立支援事業所長会議（6 月 6 日　東京都）
２．成年後見制度行政職員研修会（県主催 、6 月 6 日）
３．成年後見制度利用推進に関する福島家裁との打合せ（10 月 31 日）

４．北海道・東北ブロック道県・指定都市社協日常生活自立支援事業担当者会議（12 月 3･4 日 秋田市）
※令和元年東日本台風(台風第 19 号)のため書面開催
５．成年後見制度利用促進に関する管内市町村担当者との意見交換会（福島家裁主催：1 月 10 日）
６．高齢者虐待防止ネットワーク連携会議及び福島県身体拘束ゼロ作戦推進部会
（県高齢福祉課主催：1 月 17 日）
７．南会津町社協第６回法人後見事業業務監督審査会（2 月 5 日）

【問合せ・相談件数、契約件数】　※令和 2 年 3 月末現在、（ ）内は前年度末。

	計	高齢者（認知症等）	知的障がい者など	精神障がい者など	不明・その他	その他相談
問合せ・相談件数	24,029 件（27,904 件）	6,827 件（8,287 件）	7,886 件（7,472 件）	8,622 件（9,682 件）	694 件（2,463 件）	0 件（0 件）
初回相談件数	400 件（417 件）	190 件（196 件）	45 件（65 件）	129 件（94 件）	36 件（62 件）	0 件（0 件）
契約件数	112 件（175 件）	57 件（88 件）	25 件（34 件）	28 件（41 件）	2 件（12 件）	

【契約件数の累計】　※令和 2 年 3 月末現在、（ ）内は前年度末。

	計	高齢者（認知症等）	知的障がい者など	精神障がい者など	不明・その他
契約件数(事業開始以来件数)	1,520 件（1,408 件）	816 件（759 件）	280 件（255 件）	311 件（283 件）	113 件（111 件）
解約件数(事業開始以来件数)	936 件（818 件）	610 件（537 件）	135 件（117 件）	121 件（103 件）	70 件（61 件）
実利用件数	584 件（590 件）	210 件（226 件）	149 件（139 件）	183 件（172 件）	42 件（53 件）
契約準備件数	47 件（50 件）	20 件（15 件）	5 件（10 件）	18 件（20 件）	4 件（5 件）

＜基本目標２＞　その人らしい生活・自立への支援
【推進項目３】福祉サービスの利用者支援
（２）福祉サービスの第三者評価

実施計画／実施項目／当年度実施内容

事　業　報　告

①福祉サービス第三者評価事業の実施

ア）第三者評価の受審支援

福祉サービス第三者評価事業の実施（通年）

１．評価調査（事前訪問・訪問調査・事後訪問）

（１）堀川愛生園（児童養護施設）

（事前訪問 5 月 15 日、訪問調査 7 月 9・10 日、事後訪問 10 月 11 日）

（２）うねめの里（特別養護老人ホーム）

（事前訪問 8 月 20 日、訪問調査 10 月 23・24 日、事後訪問 1 月 27 日）

（３）福島県会津児童相談所一時保護所

（事前訪問 10 月 28 日、訪問調査 12 月 17・18 日、事後訪問 3 月 17 日）

（４）うねめの里はるひめ（特別養護老人ホーム）

（事前訪問 11 月 19 日、訪問調査 1 月 15・16 日、事後訪問 3 月 17 日）

（５）白河学園（児童養護施設）

（事前訪問 12 月 13 日、訪問調査 1 月 29・30 日、事後訪問 3 月 27 日）

２．関係会議への参加

（１）評価事業普及協議会（6 月 11 日　東京都）

（２）北海道・東北ブロック道県社協第三者評価事業等推進会議（10 月 8・9 日　仙台市）

福祉サービス第三者評価研修の開催

１．福祉サービス第三者評価研修会

期日：3 月 9 日（福島市）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

福祉サービス第三者評価出前講座の開催（随時）

１．出前講座、事前説明及び周知訪問等

（１）うねめの里（5 月 10 日）

（２）福島県会津児童相談所一時保護所（10 月 15 日）

（３）うねめの里はるひめ（5 月 10 日）

（４）白河学園（8 月 28 日）

（５）はる（9 月 3 日、2 月 19 日）

（６）森の風学園（12 月 25 日）

（７）いわき育英舎（12 月 16 日）

（８）アイリス学園（12 月 26 日）

（９）やしおみ荘（12 月 4 日）

福祉サービス評価審査委員会の開催（随時）

１．評価調査審査委員会の開催　　５回

期日：9 月 19 日、12 月 19 日、2 月 20 日（2 回）、3 月 19 日

イ）評価調査者資質向上及び実施体制の強化

新たな評価調査者の養成・質の向上（随時）

１．福島県福祉サービス第三者評価調査者継続研修会

期日：10 月 2 日（郡山市）　参加者：7 名

評価調査者学習会の開催

１．評価調査者学習会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

＜基本目標２＞　その人らしい生活・自立への支援
【推進項目３】福祉サービスの利用者支援
（３）福島県運営適正化委員会

実施計画／実施項目／当年度実施内容

事　業　報　告

①苦情解決部会、運営監視部会の推進
ア）苦情解決部会、運営監視部会の効果的運営
運営適正化委員会本会議の開催（2回　11月・3月）

【第1回】　期日：11月5日（県総合社会福祉センター）
内容：平成30年度事業報告、令和元年度事業計画及び中間報告
【第2回】　期日：3月17日（県総合社会福祉センター）
内容：令和元年度事業実施状況報告、令和2年度事業計画

苦情解決部会の開催（7回）

【第1回】　期日：5月21日（郡山ユラックス熱海）
内容：苦情申出に係る協議、令和元年度苦情解決研修会について、事業所訪問について
【第2回】　期日：7月23日（郡山ユラックス熱海）
内容：苦情申出に係る協議、苦情解決研修会について
【第3回】　期日：9月20日（郡山ユラックス熱海）
内容：苦情申出に係る協議
【第4回】　期日：11月5日（郡山ユラックス熱海）
内容：苦情申出に係る協議
【第5回】　期日：11月11日（郡山ユラックス熱海）
内容：苦情申出に係る協議
【第6回】　期日：1月24日（郡山ユラックス熱海）
内容：苦情申出に係る協議、次年度の苦情解決研修会について
【第7回】　期日：3月9日（郡山ユラックス熱海）
内容：苦情申出に係る協議、次年度の苦情解決研修会について

※　福祉サービスの苦情解決に関する情報交換会の開催（福島県との情報交換会）
・期日：6月18日
・場所：県総合社会福祉センター
・出席者：福島県保健福祉部関係課、こども未来局関係課
福島県運営適正化委員会　苦情解決部会委員全員（5名）
・内容：運営適正化委員会についての説明、実施事業や苦情についての情報交換

運営監視部会の開催（2回　6月・3月）

【第1回】　期日：6月4日（県総合社会福祉センター）
内容：日常生活自立支援事業に係る現地調査について
【第2回】　期日：3月17日（県総合社会福祉センター）
内容：現地調査の結果について

相談の受理、調整（随時　通年）

１．苦情受付件数　58 件（前年度　48 件）
２．相談件数　　20 件（前年度　28 件）

②社会福祉施設・事業所への支援
ア）第三者委員の配置促進と活動の推進
①苦情解決責任者・第三者委員研修の開催（1 回）　②苦情受付担当者研修の開催（2 回）

１．苦情解決責任者・第三者委員研修
期日：　11 月 11 日（郡山ユラックス熱海）　受講者：188 名
２．苦情受付担当者研修
①　期日：9 月 20 日（郡山ユラックス熱海）　受講者：112 名
②　期日：12 月 10 日（郡山ユラックス熱海）　受講者：192 名

事業所訪問

期日：1 月 28 日　生活介護事業所（福島市）

日常生活自立支援事業（あんしんサポート事業）に関する現地調査（6 ヶ所）

対象：日常生活自立支援事業（あんしんサポート事業）利用契約のある市町村社会福祉協議会
矢祭町、只見町、会津坂下町、棚倉町、相馬市、矢吹町

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容
会議・研修会への参加

１．都道府県運営適正化委員会事業研究協議会
期日：7 月 30 日　（東京都）
２．北海道・東北ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議
期日：12 月 3 日～4 日（盛岡市）
３　運営適正化委員会全国相談員研修会
期日：10 月 30～31 日　（東京都）

＜基本目標３＞　福祉に対する県民の理解と参加の促進
【推進項目４】広報啓発、情報提供活動

実施計画／実施項目／当年度実施内容 **事　業　報　告**
①広報啓発の強化 ア）広報紙の充実 福祉情報誌『はあとふる・ふくしま』の発行（11回　毎月）
4・5月を合併号とし発行（5～3月）
イ）ホームページやＳＮＳを活用した情報提供の充実 ホームページ及びフェイスブック等による情報発信（随時　通年）
ホームページにて情報を発信し、あわせてフェイスブックを活用した情報発信を行った。
ウ）マスメディア等の活用 積極的な情報提供（随時　通年）
「はあとふる・ふくしま」を毎月提供するとともに寄付受納及び各種行事について、各報道機関に対し随時情報提供や取材依頼を行った。
②表彰事業の実施 ア）各種表彰の実施 第73回福島県社会福祉大会の実施（1回　10月）
期日：10月31日　　※令和元年東日本台風(台風第19号)の影響により開催中止 **会場：須賀川アリーナ（須賀川市）** **内容：①記念講演「自分たちでつくるまちづくり～共生社会の実現に向けて」** **講師　野澤和弘　氏（毎日新聞論説委員）** **②式典、表彰状・感謝状贈呈** **福島県知事感謝（71名・2団体）** **「瓜生岩子賞」表彰：該当なし** **大会会長表彰（269名・3団体）** **大会会長感謝（16名・16団体）** **「赤い羽根共同募金運動スローガン」表彰状（7名）**
第27回瓜生岩子賞の贈呈（1回　10月）
9月24日　表彰審査委員会の開催 **審査結果：表彰該当者なし**
ボランティア活動功労表彰の実施（1回　8月）
第22回ふくしまボランティアフェスティバル **期　日：8月3日（パルセいいざか）** **受賞者：福島県知事感謝（14名・18団体）** **県社協会長表彰（11名・18団体）** **県社協会長感謝（72名・46団体）**

＜基本目標３＞　福祉に対する県民の理解と参加の促進
【推進項目５】ボランティア・住民参加活動
（１）ボランティア・市民活動の振興

実施計画／実施項目／当年度実施内容

事　業　報　告

①ボランティア・市民活動の基盤強化

ア）支援組織等の基盤強化

〔再掲〕市町村社協現況調査の実施

調査期間：5 月 10 日～5 月 31 日（調査基準日/平成 31 年 4 月 1 日）
対　　象：59 市町村社協
調査項目：地域支援事業における社協の取組状況について
成年後見制度への取組の推進について
社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の実施状況について
市町村の実情に合った地域福祉活動計画の策定について
市町村社協の経営基盤について
災害時の対応について
専門委員会の取組について

ボランティア受入福祉施設等担当者研修の開催（基礎編 3 回　6 月、応用編 1 回　7 月）

１．【基礎編】　期日：6 月 24 日　　参加者：26 名（ウィル福島）
期日：6 月 25 日　　参加者：32 名（ビッグパレットふくしま）
内容：講義「施設におけるボランティアの役割と位置付け」
講義、ワークショップ「ボランティアを受け入れるために」
２．【応用編】　期日：7 月 5 日　　参加者：34 名（ビッグパレットふくしま）
内容：講義、ワークショップ「ボランティアプログラムと募集方法」
講義、ワークショップ「ボランティアマネジメントと環境づくり」

ＮＰＯと社協の連携作戦会議の開催（1 回　12 月）

期　　日：11 月 20 日　　※令和元年東日本台風(台風第 19 号）により開催延期
2 月 27 日　　※新型コロナウィルス感染拡大防止のため開催中止
会　　場：県総合社会福祉センター（福島市）
参加対象：市民活動支援センター職員、市町村社協職員、NPO 法人職員等
内　　容：「共感力を高める広報のコツ！」
〔講師〕特定非営利活動法人明日育　常務理事　長井　一浩　氏

市町村社協ボランティアセンター活動実践事例集の作成・配布（1 月）

１．市町村ボランティアセンター活動事業実践事例集の作成・配布
期　　日：1 月作成
作成部数：80 部
配 布 先：市町村社協、県社会福祉課、ボランティア活動推進委員会委員
２．市町村ボランティアセンター活動実践事例集取組状況集計結果
期　　日：3 月
配 布 先：市町村社協、県社会福祉課、ボランティア活動推進委員会委員

イ）企業等の社会貢献活動への支援

県内企業の活動事例紹介（1回　2月）

福祉情報誌「はあとふる・ふくしま」3月掲載

「地域社会から求められる存在に～青年会議所会員による地域に根差した被災者支援～」

②地域福祉を支える担い手の育成

ア）市町村社協及び市民活動団体職員等の資質向上

【新規】コミュニティソーシャルワーク研修の開催（1回　7月）

期日：6月26日（県総合社会福祉センター）　参加者：38名

内容：講義Ⅰ「コミュニティソーシャルワークの基本的な考え方

～個人と家族、地域をトータルにとらえた支援のアプローチ～」

講義Ⅱ、模擬事例検討「模擬事例を通してアセスメントの視点を学ぶ」

ボランティア・福祉教育担当者研修の開催（1回　10月）

1．災害ボランティアセンター支援報告会

期　日：2月3日

会　場：県総合社会福祉センター（福島市）

参加者：22名（災害ボランティアセンターを設置した16社協）

内　容：グループワーク「災害ボランティアセンター運営のふりかえり」

〔講師〕特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長　　李　仁鉄　氏

2．「台風19号による災害ボランティアセンター運営に関するアンケート調査」の実施

3．研修会の開催

期　日：12月11日　　※令和元年東日本台風（台風第19号）により開催延期

3月5日　　※新型コロナウィルス感染拡大防止のため開催中止

会　場：ビッグパレットふくしま（郡山市）

内　容：「台風19号災害支援のふりかえりと住民支援のこれから

～これからの災害に備える地域づくり考える～」

〔コーディネーター〕

特定非営利活動法人にいがた災害ボランティアネットワーク　理事長　李　仁鉄　氏

〔報告者〕

相馬市社会福祉協議会　常務理事兼事務局長　今野　大　氏

須賀川市社会福祉協議会　相談支援事業所管理者　深谷　勝仁　氏

いわき石川青年会議所　渡邉　武嗣　氏

イ）全ての住民を対象とした福祉教育の推進

【新規】地域共生社会づくり推進セミナーの開催（県内2ヶ所）

1．三春町社会福祉協議会（隣接する田村市、小野町住民も参加対象）

※新型コロナウィルス感染拡大防止のため開催中止

テーマ：「やっぺ！身近な支え合い」

期　日：3月7日（土）

会　場：三春交流館「まほら」ホール

内　容：スコップ三味線演奏「富沢むつみ会やってみっかい」

〔コーディネーター〕

岩手県立大学　社会福祉学部社会福祉学科　准教授　菅野　道生　氏

〔発表者〕
三春健康サークル（MKC）　佐久間　能生子氏（三春町）
チームときわ　白岩　美智江氏（田村市）
元気か～い！！　伊丹　勇次郎氏（三春町）
〔トークセッション〕
岩手県立大学　社会福祉学部社会福祉学科　准教授　菅野　道生　氏
三春町社会福祉協議会　会長　坂本　浩之　氏（三春町長）
三春健康サークル（MKC）　佐久間　能生子氏
チームときわ　白岩　美智江氏（田村市）
元気か～い！！　伊丹　勇次郎氏

２．塙町社会福祉協議会（隣接する棚倉町、矢祭町、鮫川村住民も参加対象）
※新型コロナウィルス感染拡大防止のため開催中止
テーマ：「近助（近所）のちから～おたがいさまの地域をはぐくむために～」
期　日：3月4日（水）
会　場：塙町公民館　大研修室
内　容：〔講師〕
ご近所クリエイション主宰　ご近所クリエーター　酒井　保　氏
〔発表者〕
富田げんき支援隊　松本　哲明氏（鮫川村）
プレミアムＧクラブ　小峰　保広氏（塙町）

ボランティア及び福祉教育の普及促進

福祉教育ハンドブック「ともいき」及びボランティア活動ハンドブック、福祉教育ＤＶＤ「ともいき」を活用し、市町村社会福祉協議会を通じて小中学校、高等学校、大学、企業等においてボランティア及び福祉への理解を深める取組を支援。

③災害に備えた支援の強化
ア）要綱や指針などの策定・見直し支援
災害に備えた支援体制の整備（随時　通年）

１．災害ボランティアセンター運営講座でのマニュアル作成の情報共有
２．令和元年東日本台風（台風第19号）によるボランティア及び各市町村災害ボランティアセンターに対する支援
ア．資機材の確保
イ．ボランティアバスの運行及びボランティア募集
ウ．ボランティアバスのマッチング
エ．災害ボランティアセンターへの市町村社協職員の派遣調整
オ．他県社協職員派遣調整

イ）災害ボランティアセンターに必要な訓練・研修会等の実施支援
災害ボランティアセンター運営講座の開催（1回８月）

１．災害ボランティアセンター運営研修
期日：9月3日（県総合社会福祉センター）　　参加者：45名
内容：講義「社会福祉協議会が担う災害ボランティアセンターの機能と役割」
講義・演習「多様なニーズに対応する災害ボランティアセンター～被災者中心の支援とは～」
２．福島県総合防災訓練での災害ボランティアセンター設置・運営訓練
期日：10月26日（いわき市中央台公民館）　※令和元年東日本台風(台風第19号)により開催中止

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容

第 22 回ボランティアフェスティバルの開催（1 回　8 月）

期日：8 月 3 日（パルセいいざか）　　参加者：620 名

内容：テーマ「ともに生きる社会～これからのボランティア～」

・式典

・記念講演「新しい時代につなぐ”ボランティア“の力」

・分科会（３分科会）

【分科会Ａ】　活動発表　「誰もが大切にされる地域を目指して」

【分科会Ｂ】　講座　「一人ひとりの想いに寄り添うコミュニケーション」

【分科会Ｃ】　ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ「みんなと一緒！楽しくなるレクリエーション！」

ボランティア活動推進委員会の開催（本委員会 2 回　8 月・3 月）

【第 1 回】

期日：9 月 9 日　　※令和元年房総半島台風(台風第 15 号)により開催延期、令和元年東日本台風(台風第 19 号)により開催中止

会場：県総合社会福祉センター（福島市）

【第 2 回】

期日：3 月 16 日　　※新型コロナウィルス感染拡大防止のため開催中止

会場：県総合社会福祉センター（福島市）

会議・研修会等への参加

○会議・研修会等への参加

１．都道府県・指定都市社会福祉協議会部・課長会議（4 月 25 日～26 日　東京都）

２．北海道・東北ブロック道県・指定都市社会福祉協議会　地域福祉担当部課長会議（12 月 3 日～4 日　山形県）

３．都道府県・指定都市社会福祉協議会災害ボランティアセンター担当者会議（1 月 17 日　東京都）

○関係機関等への講師派遣及び協力援助

１．「社会福祉協議会とボランティアについて」講話（5 月 24 日　桜の聖母短大）

２．福島県ボランティア連絡協議会総会における講演（6 月 8 日　郡山市総合福祉ｾﾝﾀｰ）

３．県もりの案内人養成講座「ボランティア総論」（6 月 15 日　ふくしま県民の森）

４．福島学院大学　地域ボランティア活動体験発表会（7 月 6 日　福島学院大学）

５．「ボランティア入門講座」（7 月 13 日　南相馬市社会福祉協議会）

６．福島県消防学校初任教育に対する情操教育（8 月 15 日　福島県消防学校）

７．ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｸ　ﾌﾟﾚ講座in福島（8 月 31 日　郡山市中央公民館）

８．二本松市社協主催ボランティアセンター運営委員会（9 月 30 日二本松市社協）

９．「地域課題と復興公営住宅支援（地域助け合いマップづくり）」（11 月 20 日　伊達福祉センター）

10.「災害ボランティアと地域共生社会づくり」青年会議所講演（2 月 2 日　伊達市）

11. 新地町ボランティア連絡協議会（2 月 4 日　新地町社協）

12. 住民自治と地域のネットワーク（2 月 8 日　会津若松市社協）

13.「ふくしまこども食堂ネットワーク」のオブザーバーとして情報提供（随時）

＜基本目標３＞　福祉に対する県民の理解と参加の促進
【推進項目５】ボランティア・住民参加活動
（２）高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進

実施計画／実施項目／当年度実施内容 **事　業　報　告**
①長寿社会に向けての普及啓発活動の推進 ア）いきいき長寿県民賞の顕影 長寿社会のイメージアップを図るいきいき長寿県民賞事業の実施（1回　9月）
第22回いきいき長寿県民賞の表彰 **応募件数：個人25件、団体11件　計36件** **表 彰 式：9月9日　とうほう・みんなの文化センター（福島市）** **受 賞 者：個人8名、団体1件　計9件**
イ）自主事業の展開 冊子頒布事業（通年）
シルバー美術展入賞作品集の頒布（第26回～第29回）
いきいきシニア活動サポート事業（1回）
「高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会」（サザンクロスクラブ）への事業費助成金の交付及び助言・支援（５方部サザンクロスクラブ）
②高齢者の生きがいづくりと社会参加を推進するための環境整備 ア）シルバー美術展の開催 うつくしま・ふくしま健康福祉祭　福島県シルバー美術展の開催（1回　9月）
第29回福島県シルバー美術展の開催 **会　　場：とうほう・みんなの文化センター（福島市）** **期　　間：9月5日～9月9日** **表 彰 式：9月9日** **出品部門：洋画、日本画、書、写真、彫刻・工芸** **出 品 数：403点（前回412点）** **表　　彰：依嘱作品　特別賞** **公募作品　シルバー賞（福島県知事賞、福島県社会福祉協議会長賞、福島県教育委員会教育長賞、福島市長賞）、優秀賞、最高齢者賞、佳作**
イ）シニア団体等の主体的な活動を支援する環境の整備 シニア団体活動支援事業等の実施（随時　通年）
１．シニア団体のデータベースの作成 **シニア団体登録数：165団体** **２．シニア団体データをホームページ上で公開（随時更新）** **３．広報紙（活動紹介等）の発行・配付** ※令和元年東日本台風(台風第19号)の影響により中止

③高齢者総合相談事業の実施

ア）高齢者総合相談センターの運営

高齢者総合相談センター・成年後見サポートセンター事業の実施（通年）

１．相談件数 403 件（うち成年後見制度に関するもの 40 件）（前年度　596 件）

【一般相談】　357 件（うち成年後見 36 件）（前年度　514 件）

内訳　・窓口相談　350 件（うち成年後見 35 件）（前年度　504 件）

・巡回相談会　7 件（うち成年後見　1 件）（前年度　10 件）

【法律相談】　46 件（うち成年後見 4 件）（前年度　82 件）

内訳　・窓口相談　37 件（うち成年後見 4 件）（前年度　62 件）

・巡回相談会 9 件（うち成年後見 0 件）（前年度　20 件）

※巡回相談会（全 5 か所）

南相馬市ほか 4 町村。相談件数 16 件（うち成年後見 1 件）（前年度 10 か所、30 件）

２．成年後見制度利用促進関係機関連絡会議の開催

期　日：8 月 5 日（県総合社会福祉センター）

出席者：福島家庭裁判所、福島県弁護士会、福島県司法書士会、福島県行政書士会、福島県社会福祉士会等

内　容：成年後見制度利用促進施策の進捗状況、普及啓発の促進、連携に関する情報交換等

３．成年後見制度担当職員研修会の開催

対象者：市町村社会福祉協議会職員、地域包括支援センター職員等

【第 1 回】　期日：11 月 18 日（福島県農業総合センター）

内容：成年後見制度の概要と必要性、相談受付の実際等

【第 2 回】　期日：12 月 10 日（福島県農業総合センター）

内容：市町村成年後見制度利用促進計画策定の意義と効果等

イ）認知症コールセンターの運営

認知症コールセンター事業の実施（通年）

相談件数　182 件　（前年度　256 件）

【内訳】電話相談　174 件　（　〃　253 件）

面接相談　8 件　（　〃　3 件）

※推進項目に関し、活動推進計画にある事業計画・内容のほかに実施する内容

全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡会議への参加、長寿社会推進に係る広報活動

１．全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

【第 1 回】7 月 2 日（東京都）

【第 2 回】2 月 28 日（東京都）

２．全国明るい長寿社会づくり推進機構職員研修会

新人・初任者向け：4 月 24 日（東京都）

中級者向け：8 月 28 日～29 日（東京都）

３．北海道・東北ブロック明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会

期日：2 月 13 日（札幌市）

４．全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会新幹事会

期日：2 月 28 日（東京都）

５．長寿社会推進センター運営委員会の開催（中止）

期日：3 月 17 日（福島市）

６．福祉情報誌「はあとふる・ふくしま」を活用した広報

＜基本目標４＞　福祉サービスの質の向上に向けた支援
【推進項目６】福祉人材の確保・育成・定着に向けた支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容

事　業　報　告

①福祉人材センターの機能強化

ア）無料職業紹介所機能の充実

福祉人材センターの運営（求職・求人登録及び職業相談・紹介、介護福祉士等の登録）（随時　通年）

１．新規求人件数　　1,974 件（ 1,995 件）　　※（　　）内は前年度同期
２．新規求人数　　4,517 名（ 4,503 名）
３．有効求人数　　13,804 名（14,012 名）
４．新規求職者数　　772 名（　884 名）
５．有効求職者数　　3,063 名（ 3,414 名）
６．就職人数　　186 名（　209 名）
７．有効求人倍率　　4.51 倍（　4.10 倍）
８．新規求人倍率　　5.85 倍（　5.09 倍）
９．介護福祉士等の届出者数　　165 名（　141 名）

福祉人材センター運営委員会の開催（1 回　3 月）

１．福祉人材センター運営委員会
期日　3 月 17 日　　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議
内容　①令和元年度福祉人材センター事業報告について
②委員長・副委員長の互選について
③令和 2 年度福祉人材センター事業計画（案）について

イ）ハローワーク・市町村社協等との連携強化

ハローワーク等における相談活動（108 回　毎月）

１．福祉の仕事相談会　計　98 回　190 名（106 回　218 名）　　※（　　）内は前年度同期
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため計 10 回開催中止
ハローワーク福島　　11 回　20 名　（11 回　25 名）
ハローワーク二本松　　11 回　16 名　（12 回　20 名）
ハローワーク郡山　　11 回　37 名　（12 回　52 名）
ハローワーク須賀川　　11 回　32 名　（12 回　28 名）
ハローワーク白河　　11 回　16 名　（12 回　14 名）
ハローワーク会津若松　　11 回　17 名　（12 回　22 名）
ハローワーク喜多方　　10 回　 8 名　（12 回　11 名）
ハローワーク相双　　11 回　 9 名　（11 回　12 名）
ハローワークいわき　　11 回　35 名　（12 回　34 名）
２．就職支援セミナー　計　97 回　1,257 名（106 回　1,252 名）　　※（　　）内は前年度同期
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため計 10 回開催中止
ハローワーク福島　　11 回　 132 名　（11 回　136 名）
ハローワーク二本松　　11 回　 92 名　（12 回　 80 名）
ハローワーク郡山　　11 回　 131 名　（12 回　194 名）
ハローワーク須賀川　　11 回　 213 名　（12 回　164 名）
ハローワーク白河　　11 回　 119 名　（12 回　 98 名）

ハローワーク会津若松　　11回　211名　(12回　210名)
ハローワーク喜多方　　10回　134名　(12回　121名)
ハローワーク相双　　10回　43名　(12回　70名)
ハローワークいわき　　11回　182名　(12回　179名)

３．介護職員初任者研修の受講者等を対象に福祉の職場の説明会及び相談活動の実施
社会福祉法人　北信福祉会（6月13日　20名）
社会福祉法人　北信福祉会（6月14日　20名）
社会福祉法人　心愛会（6月18日　14名）
社会福祉法人　心愛会（6月22日　6名）
社会福祉法人　なごみ（9月27日　17名）
社会福祉法人　わたり福祉会（9月28日　23名）
社会福祉法人　篤仁会（10月1日　8名）
社会福祉法人　コスモ福祉会（10月8日　8名）

４．介護に関する入門的研修の受講者等を対象に福祉の職場の説明会
一般社団法人　福島県介護福祉士会
【第1回】9月29日　13名　　【第2回】12月15日　18名　　【第3回】2月16日　40名

５．民間企業・行政等主催就職フェア・セミナー等への出展（相談コーナー）参加
参加回数　14回　相談者　99名　(17回　74名)
・高卒採用オールふくしま進路フェスタ2019（4月17日　郡山市　17名）
・福島市就職ガイダンス（8月9日　福島市　5名）
・第1回福祉のしごと就職説明会（9月6日～7日　南相馬市　6名）
・保健・福祉フェスティバル郡山2019（9月29日　郡山市　0名）
・介護就職デイ　福祉関係就職説明会（11月7日　福島市　5名）
・介護就職デイ　介護・福祉の合同企業説明会＆施設見学会（11月14日　いわき市　6名）
・介護就職デイ　福祉関係合同面接会（11月18日　郡山市　3名）
・福島県立小高産業技術高等学校　２学年校内企業説明会（11月21日　南相馬市　26名）
・ケアフェスふくしま（11月24日　郡山市　6名）
・介護セミナー「介護の日記念フォーラム2019」（11月30日　二本松市　0名）
・福島県高齢者介護業務就職支援事業説明会（12月4日　会津若松市、
12月11日白河市、12月20日郡山市、12月25日福島市　2月9日いわき市、8名）
・福島市就職ガイダンス（1月11日　福島市　2名）
・福島県立長沼高等学校　進路説明会（1月30日　15名）
・第２回福祉のしごと就職説明会（2月28日～29日　南相馬市）
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

福祉の仕事相談会の開催（5方部）（48回　毎月・隔月）

相談件数計　65件（91件）　　※（　　）内は前年度同期
・郡山市　　（第４月曜日）　相談件数　36件（37件）
・会津若松市（第１水曜日）　相談件数　12件（36件）
・いわき市　（第２水曜日）　相談件数　14件（14件）
・白河市　　（第２金曜日）　相談件数　3件（ 1件）
・南相馬市　（第３木曜日）　相談件数　0件（ 3件）
※白河市、南相馬市は隔月開催

福祉人材センター協力指定事業担当者会議の開催（6社協　1回　5月）

１．指定社協

福島市、郡山市、白河市、会津若松市、南相馬市、いわき市

２．指定内容

福祉人材センター事業の広報啓発、求職登録受付など

３．福祉人材センター協力指定事業担当者会議

期日　5月10日

内容　①平成30年度事業報告について

②平成31年度事業計画について

③福祉人材センター協力指定事業の進め方について

④福祉人材養成・確保に関する情報交換

ウ）潜在保育士・保育所への支援強化

保育士・保育所支援センターの運営（随時　通年）

１．求職者及び求人者に係るコーディネート　※（　　）内は前年度同期

①相談支援

3,100件（1,230件）

内訳：求職者2,834件、求人側240件、マッチング26件

②求職・求人登録

求職登録　50名（65件）　　求人票提出　238件（196件）

③保育士の届出

届出件数　123件（128件）

④広報・周知

・保育士就職フェアチラシ作成　5,000部

・保育士再就職支援セミナーチラシ作成　7,000部

２．現状の課題把握等

雇用環境確認（保育所等訪問）

・保育士養成校　　8ヶ所　　・保育所　　3ヶ所

・認定こども園　　2ヶ所

潜在保育士再就職支援研修等事業の実施

（1）保育所等管理者セミナー

6月25日　参加者：75名

（2）保育士等再就職支援セミナー

2月10日　参加者：15名

2月14日　参加者：17名

（3）保育所等職場体験

2月　参加者：3名

3月　参加者：8名　　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

保育士対象合同就職説明会の開催

（1）保育士就職説明会の実施（福祉の職場合同就職説明会と同日開催）※（　　）内は前年度同期

7月7日　福島会場　　参加者：保育士　0名（0名）

7月15日　郡山会場　　参加者：保育士　0名（2名）

7月21日　会津会場　　参加者：保育士　0名（0名）

7月27日　いわき会場　参加者：保育士　2名（0名）

8月10日　相双会場　　参加者：保育士　0名（ － ）
2月11日　福島会場　　参加者：保育士　2名（1名）
2月24日　郡山会場　　参加者：保育士　3名（1名）
〔内容〕保育所等の事業ＰＲ、保育所等の面談コーナー、保育士・保育所支援相談コーナー

（2）保育士就職フェア
11月17日（エスパル福島）　参加者：35名
〔内容〕保育士の体験談、保育所等の面談コーナー、保育士・保育所支援相談コーナー

【新規】新採用保育士合同研修会の開催

【第1回】　8月29日～30日　三春の里田園生活館　参加者：61名
【第2回】　9月6日～7日　　三春の里田園生活館　参加者：53名

エ）調査研究事業の実施
福祉人材の確保・育成・定着に関する調査の実施（1回　8月）

１．福祉の仕事、職場を目指す学生の意識調査
調査対象：福島県内の福祉関係の養成校に在籍する学生
調査内容：学生の状況、福祉職を目指すきっかけ、福祉の仕事に対する意識等について
調査期間：令和元年9月9日～令和元年10月16日
回 収 率：70.1%（配布数　1,906　回収数　1,337）

②福祉の職場のイメージアップ
ア）学生・求職者等への正確な情報の提供
福祉・介護の仕事説明会、職場見学会、職場体験事業の実施（随時）

１．福祉・介護の仕事説明会　　※（　　）内は前年度実績
学校数　18校（高校、専門学校、短期大学、大学、養成機関）（9校）
聴講者　853名（307名）
２．福祉・介護の職場見学会
（1）職場見学バスツアー
実施期間　7月～8月　　協力施設数　7コース、14法人14施設（7コース、14法人14施設）
参加者　　68名（62名）
（2）職場見学会〔学校単位〕
実施期間　5月～2月　　協力施設数　6法人　6施設
参加者　　77名（4施設　57名）
３．福島県福祉・介護の職場体験事業の実施〔通年　随時〕
体験施設数・体験者数　18施設　239名　（18施設　275名）

高等学校訪問活動

・福島県立新地高等学校（5月24日）
・福島県立いわき総合高等学校（6月20日）
・福島県立小高産業技術高等学校（6月21日）
・福島県立相馬農業高等学校（6月21日）
・福島県立相馬東高等学校（6月21日）
・福島県立相馬高等学校（6月21日）
・福島県立原町高等学校（6月21日）
・東日本国際大学付属昌平中学・高等学校通信課程（6月25日）

・福島県立平商業高等学校（6 月 25 日）
・福島県立ふたば未来学園高等学校（7 月 2 日）
・福島県立四倉高等学校（7 月 2 日）
・福島県立萌世高等学校（10 月 25 日）
・福島県立勿来高等学校（10 月 29 日）

イ）各種広報活動による情報提供の強化

「はあとふる・ふくしま」による広報・啓発（毎月（広告）・特集（年 2 回　10 月・2 月）

・9 月号特集「浜通りにおける介護施設等の状況と介護人材確保のための取組」
・11 月号特集「介護サービスの質の向上に向けて　～県内における介護ロボットの活用事例～」

「福祉の仕事」啓発資料等の作成（随時）

・福祉の仕事ガイドブック～だから、一生の仕事。～の作成・配付　　4,000 部
・介護の仕事読本の作成・配付　　20,000 部
・転職者・再就職者向け福祉の仕事ガイド動画版のＤＶＤ作成・配信　　50 枚
・中高年齢層向け福祉の仕事スタートガイドの増刷・配付　　2,000 部
・高校生版福祉・介護の仕事スタートガイドの増刷・配付　　3,000 部
・福島県福祉人材センターウェブサイト運営管理
・福祉啓発ビデオの貸出　　17 本（平成 30 年度　89 本）

ウ）県民介護講座の実施

県民介護講座の実施（3 コース 27 回　通年）

3 コース 27 回　　457 名　　※（　　）内は前年度実績

1．初級介護講座（3 回）

5 月 25 日　　参加者　14 名（25 名）
7 月 13 日　　参加者　 9 名（21 名）
9 月 14 日　　参加者　11 名（19 名）

2．介護ワンポイント講座〔上期・下期　各 6 回〕

5 月 11 日　【介護保険】　参加者：21 名（16 名）
6 月 22 日　【医療と介護】　参加者：16 名（17 名）
6 月 29 日　【認知症】　参加者：18 名（24 名）
7 月 20 日　【福祉用具】　参加者：11 名（20 名）
8 月 3 日　【介護予防】　参加者：15 名（17 名）
8 月 24 日　【心理】　参加者： 8 名（22 名）
11 月 16 日　【認知症】　参加者：15 名（17 名）
12 月 14 日　【医療と介護】　参加者：19 名（19 名）
12 月 21 日　【介護保険】　参加者： 9 名（16 名）
1 月 18 日　【福祉用具】　参加者：19 名（12 名）
2 月 8 日　【介護予防】　参加者：22 名（17 名）
2 月 22 日　【心理】　参加者：29 名（13 名）

3．介護実技基本講座〔上期・下期　各 6 回〕

5 月 18 日　【移動】　参加者：21 名（22 名）
6 月 1 日　【食事】　参加者：25 名（19 名）
7 月 6 日　【調理】　参加者：21 名（13 名）
7 月 27 日　【排泄】　参加者：13 名（23 名）

8月17日	【清潔】	参加者：14名（15名）
9月28日	【緊急時】	参加者：18名（14名）
10月26日	【移動】	参加者：19名（20名）
12月 7日	【食事】	参加者：12名（ 7名）
1月11日	【調理】	参加者：13名（13名）
1月25日	【排泄】	参加者：26名（15名）
2月 1日	【清潔】	参加者：21名（ 9名）
2月15日	【緊急時】	参加者：18名（ 9名）

介護セミナー（介護の日記念フォーラム2019）の開催（1回　11月）

メイン企画：映画上映『ピア～まちをつなぐもの～』

サブ企画：介護なんでも相談、ハンドケア体験、福祉・介護のお仕事相談、福祉機器・介護支援ロボットの体験

期日：11月30日（県男女共生センター）　　参加者：240名

認知症介護セミナーの開催（1回　9月）

講演「誰もが安心して暮らせる福祉社会を目指して
　　認知症ケア　心とからだにやさしい認知症情動療法」

講師　東北大学医学部　臨床教授　藤井 昌彦　氏

期日：9月8日（県男女共生センター）　　参加者：193名

オーダーメイド介護講座の実施（随時）

全22回　　878名

4月 3日	（医療生協わたり病院）	参加者：23名
5月15日	（福島介護福祉専門学校）	参加者：23名
5月31日	（柳津町立柳津小学校4学年）	参加者：12名
6月23日	（郡山市富久山町社会福祉少年団）	参加者：28名
7月 9日	（二本松市立第三中学校）	参加者：94名
7月10日	（二本松市立岩代中学校1学年）	参加者：24名
7月17～18日	（福島県警察学校）	参加者：47名
7月31日	（公立学校共済組合福島支部①）	参加者：17名
8月 2日	（公立学校共済組合福島支部②）	参加者：16名
8月 8日	（公立学校共済組合福島支部③）	参加者：14名
8月20日	（ＡＬＳＯＫ福島株式会社）	参加者： 7名
8月28日	（有限会社山形屋商店）	参加者：18名
9月13日	（三春町立岩江中学校）	参加者：33名
10月24日	（県立安積高校1年生）	参加者：28名
10月29日	（福島地方・家庭裁判所職員研修）	参加者：23名
10月30～31日	（福島警察学校）	参加者：68名
11月24日	（ケアフェスふくしま）	参加者：150名
12月 4日	（株式会社ツクイ）	参加者：18名
2月21日	（一般財団法人葉たばこ財団）	参加者： 6名

認知症キャラバン・メイト養成研修の実施（2回　6月）

【第1回】　期日：6月21日（県男女共生センター）　参加者：99名

【第2回】　期日：6月28日（県男女共生センター）　参加者：92名

認知症サポーターキャラバン市町村担当者研修の実施（1回　5月）

期日：5月29日（県男女共生センター）　参加者：23名

③福祉人材の確保

ア）マッチング機能の強化

福祉の仕事就職支援セミナー、求職者への個別支援の実施（随時　通年）

536名　うち福祉職への就職者　182名（385名　うち114名）

イ）合同就職説明会の実施

合同就職説明会の実施（7回　7月・8月・2月）

【第1回】　※（　　）内は前年度実績

共催：福島労働局、各公共職業安定所、(公財)介護労働安定センター福島支所

内容：トークセッション、施設・事業所ＰＲ、就職説明会〔施設面談コーナー、ハローワークコーナー、介護労働安定センター相談コーナー、福祉人材センター相談コーナー、保育士・保育所支援センター相談コーナー、養成校相談コーナー(郡山会場のみ)〕

実績：来場者298名、求人ブース190ﾌﾞｰｽ　(251名、192 ﾌﾞｰｽ)

福島会場（7月7日）　場所：ホテル福島グリーンパレス/福島市

来場者89名、求人ブース52ﾌﾞｰｽ　(80名、62ﾌﾞｰｽ)

郡山会場（7月15日）　場所：ビッグパレットふくしま/郡山市

来場者124名、求人ブース66ﾌﾞｰｽ　(102名、71ﾌﾞｰｽ)

会津会場（7月21日）　場所：会津若松ワシントンホテル/会津若松市

来場者23名、求人ブース25ﾌﾞｰｽ　(34名、25ﾌﾞｰｽ)

いわき会場（7月27日）　場所：いわき産業創造館/いわき市

来場者36名、求人ブース32ﾌﾞｰｽ　(35名、34ﾌﾞｰｽ)

相双会場（8月10日）　場所：原町生涯学習センター/南相馬市

来場者26名、求人ブース15ﾌﾞｰｽ　(　－　)

【第2回】

共催：福島労働局、各公共職業安定所、(公財)介護労働安定センター福島支所

内容：トークセッション、施設・事業所ＰＲ、就職説明会〔施設面談コーナー、ハローワークコーナー、介護労働安定センター相談コーナー、福祉人材センター相談コーナー、保育士・保育所支援センター相談コーナー〕

実績：来場者124名、求人ブース115ﾌﾞｰｽ　(153名、120ﾌﾞｰｽ)

福島会場（2月11日）　場所：ホテル福島グリーンパレス/福島市

来場者50名　求人ブース53ﾌﾞｰｽ　(65名、54ﾌﾞｰｽ)

郡山会場（2月24日）　場所：ビッグパレットふくしま/郡山市

来場者74名　求人ブース62ﾌﾞｰｽ　(88名、66ﾌﾞｰｽ)

④福祉人材の育成

ア）施設・事業所が主体的に取り組む活動への支援

福祉・介護人材育成・確保支援事業の実施（随時　通年）

1．一般向け介護職員初任者研修補助事業の実施

決定件数　17件　281名　15,591,000円

2．介護福祉士候補者学習支援事業の実施

決定件数　163件　398名　40,856,000円

3．新規採用職員住まい支援事業の実施

決定件数　20件　20名　4,655,000円

４．新規採用職員就労支援金支給事業の実施
　決定件数　382 件　382 名　38,200,000 円
５．中堅介護職員就労支援事業（浜通り及び田村市）の実施
　決定件数　 18 件　18 名　　3,600,000 円
６．介護福祉士等養成校学生募集補助事業の実施
　決定件数　　6 件　6 校　　5,952,000 円
７．介護福祉士等養成校外国人留学生受入支援事業の実施
　決定件数　　4 件　4 校　　1,818,000 円
８．実務者研修（スクーリング）に係る代替職員等確保事業の実施
　決定件数　　3 件　3 名　　168,000 円
９．福祉の職場内定者向け導入研修会の開催　　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

イ）資格取得に向けた支援

介護支援専門員実務研修受講試験の実施（1 回　10 月 13 日実施予定）

期　　日　：10 月 13 日　※令和元年東日本台風(台風第 19 号)により延期
　　3 月 8 日
会　　場　：福島大学/福島市
受験申込者：1,009 名（1,084 名）　　※（　　）内は前年度実績
実受験者数：　752 名（972 名）
合格者数　：　120 名（74 名）
合 格 率　：　16.0%（7.6%）

介護支援専門員実務研修の開催（1 コース　1～3 月）

※令和元年東日本台風(台風第 19 号)の影響により令和 2 年度に延期

介護支援専門員再・更新研修の開催（1 コース　11～12 月）

期　　日：前期　11 月 11 日、18 日～19 日
　　中期　11 月 26 日～28 日
　　後期　12 月 10 日～12 日
会　　場：ビッグパレットふくしま/郡山市
受講者数：225 名（228 名）　　※（　　）内は前年度実績
修了者数：223 名（226 名）

介護福祉士国家試験対策講座（模擬試験）の実施（1 回　11 月）

期　日：11 月 22 日
会　場：県男女共生センター/二本松市
模擬試験受験者：26 名

介護職員実務者研修の実施（講義 6 回、演習 4 回　9～11 月）

全国社会福祉協議会との協働事業（全社協：通信教育部分・県社協：面接授業部分）
介護過程面接授業（全 6 日間）
　9 月 4 日、5 日、11 日、12 日、19 日、20 日
　受講者：36 名
医療的ケア（全 2 日間　2 コース）
　１コース：10 月 9 日～10 日　　２コース：11 月 8 日～9 日

介護福祉士等修学資金等の貸付の実施（随時）

１．介護福祉士修学資金貸付　　※（　　）内は前年度同期

（１）貸付状況

貸付申込者数　43 名（48 名）

貸付決定者数　40 名（43 名）

内訳：介護福祉士　39 名（41 名）

県内養成校在住　29 名（34 名）、県外養成校在住　10 名（7 名）

社会福祉士　1 名（2 名）

貸付決定額　68,500,000 円（71,960,000 円　※辞退者 1 名：1,640,000 円含む）

内訳：介護福祉士　67,500,000 円（66,760,000 円　※辞退者 1 名：1,640,000 円含む）

社会福祉士　1,000,000 円（5,200,000 円）

（２）貸付選考会の開催　　期日：5 月 29 日

（３）債権管理

総貸付者数 473 名　※今年度決定者も含む

＜貸付中 81 名、返還中 19 名、返還完了 50 名、停止中 0 名、免除 104 名、

（介護従事による）猶予中 204 名、（介護従事以外）猶予中 10 名、全額辞退 5 名＞

２．実務者研修受講資金貸付（随時）

（１）貸付状況

貸付申込者数　73 名（51 名）

貸付決定者数　73 名（49 名）

貸付決定額　14,120,000 円（9,590,000 円）

（２）貸付選考会の開催　　随時

（３）債権管理

総貸付者数 175 名　※今年度決定者も含む

＜貸付中 73 名、返還中 0 名、返還完了 5 名、免除 9 名

（介護従事による）猶予中 85 名、（介護従事以外）猶予中 2 名、全額辞退 1 名＞

３．介護人材再就職準備金貸付（随時）

（１）貸付状況

貸付申込者数　7 名（8 名）

貸付決定者数　7 名（8 名）

貸付決定額　2,800,000 円（3,116,000 円）

（２）貸付選考会の開催　　随時

（３）債権管理

総貸付者数 39 名　※今年度決定者も含む

＜貸付中 1 名、返還中 0 名、返還完了 1 名、免除 20 名

（介護従事による）猶予中 15 名、（介護従事以外）猶予中 1 名、全額辞退 1 名＞

保育士等修学資金等の貸付の実施（随時　通年）

１．保育士修学資金貸付　　※（　　）内は前年度同期

（１）貸付状況

貸付申込者数　103 名（71 名）

貸付決定者数　97 名（60 名）※辞退者 3 名含む

貸付決定額　136,280,000 円　※辞退者 3 名：4,000,000 円含む（88,720,000 円）

（２）貸付選考会の開催　　期日：5 月 29 日

（３）債権管理

総貸付者数 288 名　※今年度決定者も含む

＜貸付中 152 名、返還中 5 名、返還完了 12 名、停止中 2 名、免除 1 名、
（保育従事による）猶予中 109 名、（保育従事以外による）猶予中 2 名、全額辞退 5 名＞

２．保育士修学資金特別貸付

（１）貸付状況

貸付申込者数　0 名（2 名）

貸付決定者数　0 名（2 名）

貸付決定額　　0 円（1,000,000 円）

（２）貸付選考会の開催

（３）債権管理

総貸付者数　0 名　＜貸付中 0 名＞

３．保育士就職準備金等貸付（随時）

（１）貸付状況

貸付申込者数　3 名（2 名）

貸付決定者数　3 名（2 名）

貸付決定額　1,200,000 円（800,000 円）※未送金 1 名（400,000 円）含む

（２）貸付選考会の開催　　随時

（３）債権管理

総貸付者数 24 名　※今年度決定者も含む

＜貸付中 1 名、返還完了 1 名、免除 18 名、（保育従事による）猶予中 4 名、全額辞退 0 名＞

４．保育補助者雇上費貸付（随時）

（１）貸付状況

貸付申込者数　0 名（0 名）

貸付決定者数　0 名（0 名）

貸付決定額　　0 円（0 円）

（２）貸付選考会の開催　　随時

（３）債権管理

総貸付者数　0 名　※今年度決定者も含む

５．未就学児をもつ保育士に対する保育料の一部貸付（随時）

（１）貸付状況

貸付申込者数　6 名（5 名）

貸付決定者数　6 名（5 名）

貸付決定額　　1,308,000 円（1,072,000 円）

（２）貸付選考会の開催　　随時

（３）債権管理

総貸付者数　15 名　※今年度決定者も含む

＜貸付中 7 名、猶予中 4 名、免除 4 名＞

相馬地方介護福祉士養成貸付事業の実施（5 月）

１．貸付状況　　※（　　）内は前年度同期

貸付申込者数　2 名（0 名）

貸付決定者数　2 名（0 名）

貸付決定額　　1,013,880 円（0 円）

２．貸付選考会の開催　　期日：5 月 28 日、6 月 20 日

３．債権管理

総貸付者数　3名　※今年度決定者も含む

＜貸付中2名、猶予中1名＞

４．広報等

県内の介護人材養成校8校、県外の介護人材養成校9校及び関係機関等へ通知を郵送、ホームページへの掲載、相馬地方高等学校への訪問

⑤職員の定着

ア）専門家と連携した職場改善支援の実施

【新規】多様な人材を確保するためのセミナーの開催

【第1回】6月28日（福島市）　参加者：68名

【第2回】12月19日（郡山市）　参加者：115名

イ）施設・事業所個別訪問の実施

施設・事業所等個別訪問事業の実施（随時　通年）

高齢者福祉施設　　20件（14件）　　※（　　）内は前年度実績

＜基本目標４＞　福祉サービスの質の向上に向けた支援
【推進項目７】社会福祉従事者の資質向上

実施計画／実施項目／当年度実施内容	
事　業　報　告	
①福祉人材の資質向上への支援	
ア）福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程の実施	
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（全社協開発）研修の実施（4 コース 16 回　通年）	
１．初任者研修（6 班）	**233 名（県総合社会福祉センター）**
２．中堅職員研修（6 班）	**278 名（県総合社会福祉センター）**
３．チームリーダー研修（3 班）	**178 名（県総合社会福祉センター）**
４．管理職員研修	**39 名（県総合社会福祉センター）**
イ）種別や職種等研修ニーズに応じた研修の実施	
施設種別や職種に応じた課題別による研修の実施（22 コース　25 回）	
１．現任研修	
（１）認知症高齢者対応研修	**118 名（郡山ユラックス熱海）**
（２）老人福祉施設職員研修Ⅰ	**113 名（郡山ユラックス熱海）**
（３）老人福祉施設職員研修Ⅱ	**94 名（ビッグパレットふくしま）**
（４）障がい者福祉施設職員等基礎研修	**82 名（ビッグパレットふくしま）**
（５）障がい者福祉施設職員研修	**48 名（ビッグパレットふくしま）**
（６）児童福祉施設職員研修	**12 名（県総合社会福祉センター）**
（７）児童厚生員・放課後児童指導員研修	**85 名（ビッグパレットふくしま）**
（８）社会福祉施設看護等職員研修	**109 名（ビッグパレットふくしま）**
（９）社会福祉施設栄養士研修	**70 名（ビッグパレットふくしま）**
(10) 保育所新任保育士研修	**130 名（ビッグパレットふくしま）**
(11) 保育所給食関連職員研修	**81 名（ビッグパレットふくしま）**
(12) 保育所指導管理者研修	**62 名（ウィル福島）**
２．訪問介護員現任研修	
（１）新任訪問介護員研修	**44 名（ビッグパレットふくしま）**
（２）訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅰ	**79 名（ビッグパレットふくしま）**
（３）訪問介護テーマ別技術向上研修Ⅱ	**37 名（いわきニュータウンセンター）**
（４）訪問介護適正実施研修Ⅰ	**75 名（ビッグパレットふくしま）**
（５）訪問介護適正実施研修Ⅱ	**58 名（ビッグパレットふくしま）**
３．法人・施設長研修	
（１）社会福祉法人理事研修	**108 名（郡山ユラックス熱海）**
（２）社会福祉法人評議員研修	**99 名（ビッグパレットふくしま）**
（３）社会福祉法人監事研修	**79 名（郡山ユラックス熱海）**
（４）社会福祉法人事務長等研修	**102 名（郡山ユラックス熱海）**
４．課題別専門分野研修	
（１）社会福祉施設等職員初任者基礎研修	**129 名（郡山ユラックス熱海）**
（２）福祉の職場におけるメンタルヘルス研修	**50 名（ビッグパレットふくしま）**
（３）広報講習会	**37 名（県男女共生センター）**
５．民生児童委員研修	
（１）主任児童委員研修	**258 名（ビッグパレットふくしま）**

福祉研修事業運営委員会の開催（1回　3月）

期日：3月2日（県総合社会福祉センター）及び書面審議3月5日
内容：委員長の互選について
令和元年度社会福祉研修事業実施状況について
令和2年度社会福祉研修事業実施計画（案）について
運営委員会要綱の一部改正について

地域介護専門職員研修の実施（10コース13回　通年）

（1）地域アセスメント研修	32名（県男女共生センター）
（2）企画力アップ研修	31名（県男女共生センター）
（3）相談援助面接研修（記録編：第1回）	36名（県男女共生センター）
（記録編：第2回）	30名（県男女共生センター）
（4）相談援助面接研修（初級編：第1回）	43名（県男女共生センター）
（初級編：第2回）	44名（県男女共生センター）
（5）相談援助面接研修（中級編）	35名（県男女共生センター）
（6）福祉用具研修	25名（県男女共生センター）
（7）住宅改修研修	19 名（県男女共生センター）
（8）排泄ケア研修（地域ケア編）	11 名（県男女共生センター）
（9）排泄ケア研修（施設編）	37 名（県男女共生センター）
(10) ピンポイント介護技術研修（移乗介助編）	27名（県男女共生センター）
（おむつ介助編）	32名（県男女共生センター）

介護職員等による喀痰吸引等基本研修の開催（講義8日1回　6月、演習評価2日2回　7月・8月）

福島県喀痰吸引等基本研修	98名（県男女共生センター）

②職場内研修の推進
ア）職場研修の支援
職場研修担当職員研修（全社協開発）等の実施（2コース2回　10月・12月）

（1）職場研修担当職員研修	27名（県総合社会福祉センター）
（2）職場研修担当職員フォローアップ研修	15名（県総合社会福祉センター）

福祉介護人材定着促進事業の実施（8コース19回　通年）

（1）キャリアパス制度理解研修	75名（郡山ユラックス熱海）
（2）キャリアパス制度運用研修（4回）	51名（各方部）
（3）研修講師支援研修（第1回）	35名（ビッグパレットふくしま）
研修講師支援研修（第2回）	21名（県総合社会福祉センター）
研修講師支援研修（第3回）	19名（県総合社会福祉センター）
研修講師支援研修（第4回）	29名（県総合社会福祉センター）
研修講師支援研修（第5回）	20名（県総合社会福祉センター）
研修講師支援研修（第6回）	16名（県総合社会福祉センター）
（4）新人職員向けOJT（プリセプター）先進事例研修	84名（ビッグパレットふくしま）
（5）新人職員向けOJT（プリセプター）促進研修（3回）	60名（各方部）
（6）新人職員向けネットワーク構築研修（2回）	33名（県総合社会福祉センター）
（7）キャリアパス制度における評価実務者研修	46名（県総合社会福祉センター）
（8）管理職員のためのプリセプター運用研修	12名（県総合社会福祉センター）

＜基本目標４＞　福祉サービスの質の向上に向けた支援
【推進項目８】社会福祉従事者の福利厚生の推進

実施計画／実施項目／当年度実施内容 **事　業　報　告**
①社会福祉従事者施設団体職員共済事業の運営 ア）健全な資産運用 資産の外部委託運用（随時　通年）
三菱ＵＦＪ信託銀行からの運用状況の受理 **平成 30 年度第 4 四半期分（5 月 10 日）** **令和元年度第 1 四半期分（7 月 30 日）** **令和元年度第 2 四半期分（11 月 27 日）** **令和元年度第 3 四半期分（2 月 13 日）**
契約者への運用状況の報告（毎月 1 回　通年）
毎月 1 回発送
イ）社会福祉事業施設団体職員共済事業の適正な運営 運営委員会の開催（4 回　5 月・9 月・11 月・2 月）
【第 1 回】　書面審議 **内容：社会福祉法人さくら福祉会の共済契約解除について** **【第 2 回】　期日：5 月 31 日** **内容：資産運用状況について** **共済契約の解除について** **副委員長の選任について** **平成 30 年度事業報告について** **平成 30 年度収入支出決算報告について** **運用評価の実施について** **【第 3 回】　期日：9 月 10 日** **内容：資産運用状況について** **令和元年度中間事業報告について** **令和元年度収入支出補正予算（案）について** **運用委託先について** **今後の運用について** **【第 4 回】　期日：12 月 16 日** **内容：資産運用状況について** **台風 19 号被害に伴う災害見舞金の取り扱いについて** **令和元年度中間事業報告について** **【第 5 回】　期日：2 月 20 日** **内容：資産運用状況について** **令和元年度補正予算（案）について** **令和 2 年度事業計画（案）・当初予算（案）について** **共済契約解除について**

各種給付事業の実施（毎月１回決定・送金　通年）

１．退会給付金	1,270 件	1,342,323 千円	(1,315 件	1,421,643 千円)
２．結婚祝金	232 件	4,640 千円	(250 件	5,000 千円)
３．出産祝金	335 件	3,360 千円	(347 件	3,490 千円)
４．弔慰給付金	12 件	240 千円	(16 件	320 千円)
５．傷病見舞金	14 件	140 千円	(16 件	160 千円)
６．災害見舞金	194 件	4,100 千円	(2 件	40 千円)

※（　　）内は前年度同期

資金貸付事業の実施（毎週１回決定・送金　通年）

１．一般資金	50 件	28,450 千円	(56 件	32,610 千円)
２．住宅資金	0 件	0 千円	(0 件	0 千円)

※（　　）内は前年度同期

事務説明会（新任）の実施（1 回　7 月）

期　日：7 月 1 日（県総合社会福祉センター）
参加者：39 名

事務取扱いの手引きの改訂・作成（1 回　12 月）

事務取扱いの手引き（令和元年度版）の作成（2 月）
作成部数：320 部

②社会福祉施設職員等退職手当共済事業の事務受託

ア）受託事務の実施

実務研修会の実施（1 回　10 月）

期　日：2 月 5 日（県総合社会福祉センター）
参加者：70 名

③福利厚生センター事業の充実

ア）参加・利用しやすい事業の企画運営

企画・情報会議の開催（2 回　7 月・2 月）

【第 1 回】期日：8 月 1 日
内容：福利厚生センター会員交流事業について
平成 30 年度福利厚生センター事業報告
令和元年度ディナーパーティーの実施について
次年度の会員交流事業について
【第 2 回】期日：3 月 6 日
内容：令和 2 年度福祉厚生センター事業計画（案）について
令和 2 年度旅行企画の採択について

会員交流事業の実施（10 回　5～2 月）

１．シルク・ドゥ・ソレイユ「キュリオス」仙台公演
期日：5 月 25 日　　参加者：100 名（申込者 253 名）
２．楽天生命パークで応援！楽天イーグルス VS 千葉ロッテマリーンズ
期日：6 月 29 日　　参加者：80 名（申込者 181 名）
３．夏休みを満喫！！東京ディズニーリゾート２日間
期日：7 月 22～23 日　　参加者：101 名（申込者 197 名）

４．日帰りリフレッシュプラン　～県内リゾート地で癒される～
　　実施期間：7 月 13 日～12 月 20 日
　　会　　場：御宿東鳳、エンゼルフォレスト那須白河、空の庭プチホテル
　　利 用 者：137 名
５．横浜中華街グルメとティークルーズツアー
　　期日：9 月 7 日　　参加者：84 名（申込者 130 名）
６．ラフォーレ倶楽部宿泊プラン　～リゾート地を満喫する～
　　利 用 者：42 名
７．ディナーパーティー
　　実施機関：10 月 10～25 日（計 25 回開催）　参加者 335 名（申込者 615 名）
　　会　　場：県内 23 店舗　　※令和元年東日本台風(台風第 19 号）により、うち 3 回開催を中止。
８．劇団四季「アラジン」東京公演
　　期日：11 月 22 日　　参加者：89 名（申込者 145 名）
９．十二月大歌舞伎　東京観劇日帰りツアー
　　期日：12 月 14 日　　参加者：46 名（申込者 51 名）

家庭用常備薬の斡旋（2 回　6 月・11 月）

【第１回】　実施時期：6 月 14 日～7 月 5 日
　　利用事業所：200 ヵ所
【第２回】　実施時期：10 月 11 日～11 月 22 日
　　利用者：659 名

イ）福利厚生センター未加入法人への加入促進
　未加入法人への個別訪問（随時　通年）

１．非会員施設・事業所へのＰＲチラシの配布（785 ヵ所）
２．福利厚生センターとの合同個別訪問
　　期日：11 月 26 日　　訪問法人：4 法人

＜基本目標５＞　福祉力向上に向けての協働・支援
【推進項目９】市町村社会福祉協議会との協働・支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容
事　業　報　告
①市町村社協への支援
ア）市町村社協の経営支援
経営・財務・労務管理研修会の開催（1回　10月）
期　日：10月25日　　会　場：県総合社会福祉センター **参加者：39名**
相談・個別訪問事業の実施（15回　通年）
１．田村市社会福祉協議会（5月15日　会計業務） **２．葛尾村社会福祉協議会（5月15日　会計業務）** **３．南相馬市社会福祉協議会（5月30日　社会福祉法人公益的取組）** **４．塙町社会福祉協議会（10月10日　地域福祉活動計画）** **５．浅川町社会福祉協議会（10月10日　介護保険事業経営）** **６．塙町社会福祉協議会（11月6日　地域福祉活動計画）** **７．平田村社会福祉協議会（11月11日　介護保険事業）** **８．浅川町社会福祉協議会（11月14日　職員研修）** **９．平田村社会福祉協議会（11月29日　職員研修）** **10．平田村社会福祉協議会（2月5日　地域福祉活動計画）** **11．南会津町社会福祉協議会（2月5日　法人後見）** **12．田村市社会福祉協議会（2月7日　地域福祉活動計画）** **13．相馬市社会福祉協議会（2月17日　権利擁護事業）** **14．田村市社会福祉協議会（2月28日　地域福祉活動計画）** **15．田村市社会福祉協議会（3月13日　地域福祉活動計画）**
イ）地域福祉活動計画の策定支援
市町村地域福祉活動計画策定支援事業の実施（学習会1回　8月、モデル事業随時　通年）
１．モデル事業指定社協 **田村市社会福祉協議会** **塙町社会福祉協議会** **喜多方市社会福祉協議会** **２．学習会の開催** **期日：9月12日（県総合社会福祉センター）　　参加者：33名**
ウ）公益的な取組の推進
社協と施設の連携による「公益的な取組」推進モデル事業の実施（随時　通年）
１．モデル事業指定社協 **会津若松市社会福祉協議会**
エ）「社協・生活支援活動強化方針」普及・促進
【新規】「社協・生活支援活動強化方針」普及・促進事業（1回　9月）
期日：9月12日（県総合社会福祉センター）　　参加者：33名

②市町村社協との協働

ア）市町村社協連絡協議会活動の充実

会長会（全体会）の開催（2回　6月・2月）

【第1回】　期　日：7月3日（ビッグパレットふくしま）
出席者：市町村社会福祉協議会役職員

【第2回】　期　日：3月5日（ビッグパレットふくしま）＜トップセミナーと併催＞
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
報　告：令和元年度（平成31年度）事業中間報告　等

事務局長会役員会の開催（2回　8月・2月）

【第1回】　期　日：8月20日（郡山市総合福祉センター）
出席者：事務局長会会長、副会長

【第2回】　期　日：2月13日（郡山市総合福祉センター）
出席者：事務局長会会長、副会長

要望活動の実施（1回　9月）

1．県議会各派への制度要望及び政策提言活動の実施（9月3日）
2．令和2年度県予算編成に対する県保健福祉部への要望活動の実施（9月5日）

地区連絡会の開催（2回　7月・1月）

【第1回】期日・会場
県北：8月5日　二本松市役所安達支所
県中：7月30日　郡山市総合福祉センター
県南：7月29日　白河市社会福祉協議会
会津・南会津：8月5日　会津若松市北会津支所
相双：8月6日　相馬市総合福祉センター

【第2回】期日・会場
県北：1月21日　二本松市役所安達支所
県中：1月30日　郡山市総合福祉センター
県南：1月　9日　白河市社会福祉協議会
会津・南会津：1月20日　会津若松市北会津支所
相双：1月29日　相馬市総合福祉センター

専門委員会の開催（4回　5月・7月・9月・11月）

【第1回】期日：8月29日
会場：大熊町社会福祉協議会中通り連絡所

【第2回】～　※令和元年東日本台風(台風第19号)により開催延期
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

社会福祉トップセミナーの開催（1回　2月）

期　　日：3月5日　　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
参加対象：市町村社協会長・役員・事務局長・職員 等
会　　場：ビッグパレットふくしま
講　　師：ご近所クリエイション主宰　ご近所福祉クリエーター　酒井　保　氏

市町村社協現況調査の実施（1回　4月）

〔再掲〕調査期間：5月10日～5月31日（調査基準日/平成31年4月1日）
対　　象：59市町村社協
調査項目：地域支援事業における社協の取組状況について
成年後見制度への取組の推進について
社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の実施状況について　等

イ）市町村社協における人材育成

社協職員研修（管理職員）の開催

期　日：8月1日～2日（県総合社会福祉センター）　参加者：14名

社協職員研修（新任職員）の開催

期　日：7月9～10日（県男女共生センター）　参加者：36名

生活支援体制整備事業担当職員研修の開催（2回　4月・11月）

【基礎編】期日：4月18日（県総合社会福祉センター）　参加者：30名
【応用編】期日：11月19日（県総合社会福祉センター）　参加者：15名

コミュニティソーシャルワーク研修の開催（1回　7月）

〔再掲〕【基礎編】期日：6月26日（ビッグパレットふくしま）　参加者：38名
【実践編】期日：7月22日・8月26日（ビッグパレットふくしま）　参加者：27名

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容

市町村社協職員便覧の作成（1回　6月）

市町村社協職員便覧の作成（6月）
（配布先）市町村社会福祉協議会

ブロック会議の開催・全国会議等への参加（随時　通年）

1．平成31年度都道府県・指定都市社協部・課・所長会議（4月25～26日　東京都）
2．北海道・東北ブロック道県・指定都市社会福祉協議会地域福祉担当部課長会議
（12月3～4日　山形県）
3．これからの福祉を考える全国セミナー（2月14日　仙台市）

＜基本目標５＞　福祉力向上に向けての協働・支援
【推進項目 10】社会福祉施設等との協働・支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容
事　業　報　告
①社会福祉施設等との連携 ア）部会・協議会活動の推進 障がい児者福祉施設協議会活動の推進（通年）
１．総会の開催 **期日：5 月 20 日（郡山市）** **２．監事会の開催** **期日：5 月 20 日（郡山市）** **３．役員会の開催** **【第 1 回】期日：7 月 9 日（郡山市）** **【第 2 回】期日：3 月 3 日（郡山市）** **４．調査委員会** **【第 1 回】期日：8 月 6 日（郡山市）** **【第 2 回】期日：9 月 19 日（郡山市）** **【第 3 回】期日：1 月 23 日（郡山市）** **５．広報委員会の開催** **【第 1 回】期日：8 月 6 日（郡山市）** **【第 2 回】期日：10 月 10 日（郡山市）** **６．研修委員会の開催** **【第 1 回】期日：8 月 9 日（郡山市）** **８．調査の実施** **調査内容：令和元年度　人材確保・定着に係る意識調査** **調査期間：10 月 15 日～11 月 22 日** **調査対象：障がい児者福祉施設協議会会員施設　118 か所** **回 収 率：87.3%** **調査報告書の作成** **９．研修会の開催** **（１）意思決定支援＆記録研修** **期日：12 月 18 日（福島市）　参加者：60 名** **（２）様々な障がいを抱える方への対応研修** **期日：1 月 28 日（郡山市）　参加者：101 名** **（３）障害福祉サービス等報酬改定と今後の方向性について（講演）** **期日：5 月 20 日（郡山市）　参加者：66 名** **10. 県に対する要望** **台風１９号に伴う被害に対する支援に関する要望** **期日：10 月 21 日（福島市）** **11. 広報誌「すまいる通信 10 号」の発行**

地域包括・在宅介護支援センター協議会活動の推進（通年）

１．総会の開催
期日：5 月 27 日（郡山市）
２．監事会の開催
期日：5 月 27 日（郡山市）
３．役員会の開催
【第 1 回】期日：8 月 30 日（郡山市）
【第 2 回】期日：2 月 21 日（福島市）
４．企画広報委員会の開催
【第 1 回】期日：12 月 2 日（福島市）
【第 2 回】期日：1 月 20 日（福島市）
５．研修委員会の開催
【第 1 回】期日：4 月 18 日（郡山市）
【第 2 回】期日：5 月 27 日（郡山市）
【第 3 回】期日：8 月 30 日（郡山市）
【第 4 回】期日：2 月 21 日（福島市）
６．職員研修の開催
（1）初任者研修　期日：6 月 12 日～13 日（郡山市）　参加者：82 名
（2）現任者研修　期日：11 月 29 日（福島市）　参加者：69 名
７．広報誌の発行
「Active ふくしま」第 8 号　発行部数：500 部
８．東北ブロック
（1）東北ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会会長等合同会議
【第 1 回】期日：7 月 11 日（青森市）
【第 2 回】期日：11 月 14 日（青森市）
【第 3 回】期日：2 月 13 日（青森市）
（2）東北ブロック地域包括・在宅介護支援センター職員研修会
期日：11 月 14～15 日（青森市）

児童福祉施設部会活動の推進（通年）

１．総会の開催
期日：5 月 23 日（福島市）
２．監事会の開催
期日：5 月 23 日（福島市）
３．定例会の開催
【第 1 回】期日：7 月 18 日（福島市）
【第 2 回】期日：3 月 11 日（福島市）　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議
４．県に対する要望書の提出及び県児童家庭課長との懇談会
期日：8 月 21 日（福島市）
５．県教育委員会義務教育課長及び特別支援教育課長との懇談会
期日：9 月 4 日（福島市）
６．職員研究会活動
（1）総会
期日：4 月 11 日（郡山市）
（2）役員会
期日：3 月 5 日（郡山市）

（3）各種行事委員会
【第1回】期日：5月9日（郡山市）
【第2回】期日：2月20日（郡山市）
（4）心理職員等研修会
【第1回】期日：5月16日（福島市）
【第2回】期日：11月6日（福島市）
【第3回】期日：2月26日（福島市）
（5）調査広報委員会
【第1回】期日：5月30日（郡山市）
【第2回】期日：11月21日（郡山市）
【第3回】期日：1月23日（郡山市）
（6）職員研修会
【第1回】期日：7月4日（棚倉町）
【第2回】期日：10月17日（須賀川市）
【第3回】期日：12月5～6日（須賀川市）
（7）事務職員等研修会
期日：8月23日（いわき市）
（8）給食担当職員等研修会
期日：11月7日（白河市）
（9）第39回児童福祉施設交歓球技大会
期日：10月13日（いわき市）　※令和元年東日本台風(台風第19号)により開催中止
(10) 施設視察研修会
期日：11月13～14日　　※令和元年東日本台風(台風第19号)により開催中止

母子生活支援施設部会活動の推進（通年）

1．総会の開催
期日：5月23日（福島市）
2．監事会の開催
期日：5月23日（福島市）
3．情報交換会の開催
期日：9月24日（福島敬香ハイム）
4．北海道・東北ブロック母子生活支援施設研究協議会への参加
期日：9月12日～13日（仙台市）

イ）社会福祉法人経営者協議会との連携
社会福祉法人経営者協議会活動の推進

1．総会の開催
【第1回】期日：7月3日（郡山市）
【第2回】期日：3月10日（郡山市）　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
2．理事会の開催
【第1回】期日：5月29日（郡山市）
【第2回】期日：11月27日（郡山市）
【第3回】期日：2月13日（郡山市）
3．監事会の開催
期日：5月29日（郡山市）

４．全国社会福祉法人経営者協議会との共催セミナー
【第１回】期日：7月3日（郡山市）　参加者：130名
【第２回】期日：1月17日（郡山市）　参加者：106名
５．社会福祉法人における地域における公益的な取組の推進
事例収集　7法人について、県社協ホームページに掲載
６．研修会の開催
（１）次世代人材育成研修会（6回シリーズ）
【4クール目・第４回】期日：4月11日（郡山市）　受講者：24名
【4クール目・第５回】期日：6月12日（郡山市）　受講者：22名
【4クール目・第６回】期日：8月8日（郡山市）　受講者：22名
（２）マネジメント研修
期日：7月29日（福島市）　受講者：74名
（３）ＢＣＰ（事業継続計画）策定セミナー（全社協助成事業）
期日：10月23日（郡山市）　※令和元年東日本台風(台風第19号)により開催中止
（４）社会福祉法人運営研修
期日：3月13日（郡山市）　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
（５）青年部会　勉強会
期日：6月19日（郡山市）　参加者：11名
（６）青年部会　視察研修
期日：10月11日～12日（栃木県）　参加者：9名
７．組織活動
（１）退会：１法人
８．全国会議及びブロック会議等への参加
（１）全国社会福祉法人経営者協議会　常任協議員会
【第１回】期日：4月5日（東京都）
【第２回】期日：5月30日（東京都）
【第３回】期日：6月7日（東京都）
【第４回】期日：8月2日（東京都）
【第５回】期日：9月6日（東京都）
【第６回】期日：10月4日（東京都）
【第７回】期日：11月1日（東京都）
【第８回】期日：12月6日（東京都）
【第９回】期日：1月10日（東京都）
【第10回】期日：2月7日（東京都）
【第11回】期日：3月5日（東京都）
（２）全国社会福祉法人経営者協議会　協議員総会
【第１回】期日：5月31日（東京都）
【第２回】期日：9月11日（鳥取県）
【第３回】期日：3月6日（東京都）
（３）第38回全国社会福祉法人経営者大会
期日：9月12日～13日（鳥取県）
（４）全国社会福祉法人経営者協議会　ブロック会議
期日：6月14日（宮城県）　参加者：7名
（５）災害福祉広域支援ネットワーク構築セミナー
期日：9月24日（東京都）

９．北海道・東北ブロック会議等への参加
（１）北海道・東北ブロック協議会会長会議
【第１回】期日：4 月 16 日（宮城県）
【第２回】期日：6 月 13 日（宮城県）
【第３回】期日：8 月 20 日（宮城県）
【第４回】期日：10 月 16 日（岩手県）
【第５回】期日：11 月 19 日（宮城県）
【第６回】期日：12 月 18 日（宮城県）
【第７回】期日：2 月 21 日（宮城県）
（２）全国社会福祉法人経営者協議会「北海道・東北ブロック経営協セミナー」
期日：10 月 15 日～16 日（岩手県）
10．関係団体との連携・協力
（１）福島県広域災害福祉支援ネットワーク協議会への参画
期日：3 月 16 日（郡山市）　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

【青年部会】
１．青年部会　役員会の開催
【第１回】期日：5 月 24 日（郡山市）
【第２回】期日：12 月 24 日（郡山市）
２．青年部会　全体会の開催
【第１回】期日：6 月 19 日（郡山市）
【第２回】期日：1 月 24 日（郡山市）
３．全国社会福祉法人経営青年会等への参加
（１）　全国経営青年会委員総会
【第１回】期日：5 月 28 日（東京都）
【第２回】期日：11 月 6 日（愛知県）
（２）全国経営青年会制度・政策委員会
【第１回】期日：7 月 30 日（東京都）
【第２回】期日：10 月 30 日（東京都）
（３）第 23 回社会福祉法人経営青年会全国大会
期日：11 月 7 日～8 日（愛知県）
４．北海道・東北ブロック社会福祉法人経営青年会への参加
（１）北海道・東北ブロック協議会青年会会長会議
【第１回】期日：4 月 16 日（宮城県）
【第２回】期日：8 月 20 日（宮城県）
【第３回】期日：11 月 19 日（宮城県）
【第４回】期日：12 月 18 日（宮城県）
【第５回】期日：2 月 21 日（宮城県）
（２）北海道・東北ブロック社会福祉法人経営青年会セミナー
期日：10 月 28 日（青森県）
（３）北海道・東北ブロック社会福祉法人経営者協議会令和元年度災害福祉支援
体制構築助成事業によるＢＣＰ策定研修会【基礎編】
期日：9 月 3 日（北海道）
（４）北海道・東北ブロック社会福祉法人経営者協議会令和元年度災害福祉支援
体制構築助成事業によるＢＣＰ策定研修会【応用編】
期日：10 月 29 日（青森県）

社会福祉法人経営者協議会各地区情報交換会の開催（通年）

１．「社会福祉法人の地域における公益的な取組」方部別懇談会の開催

【県北方部】	期日：2月4日（福島市）	参加者：18法人　21名
【県中・県南方部】	期日：2月6日（郡山市）	参加者：13法人　17名
【会津・南会津方部】	期日：1月23日（会津若松市）	参加者：14法人　18名
【相双方部】	期日：1月31日（南相馬市）	参加者：7法人　10名
【いわき方部】	期日：2月14日（いわき市）	参加者：5法人　6名

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容

社会福祉施設関係団体等との連携（通年）

随時

教員免許取得介護等体験事業の実施（通年）

申込件数：　16大学　283名（30年度　18大学　294名）

社会福祉事業等経営相談支援事業（通年）

１．会計経営相談　　32件（30年度 30件）
２．法律相談　　7件（30年度　6件）
３．労務相談　　17件（30年度 17件）

聖マリア児童福祉基金運営事業・支援機構あすなろ教育支援基金事業の実施（助成事業）（通年）

１．聖マリア児童福祉基金の助成
　助成金　2,425,000円　（内訳：高校進学者等 25名、大学等進学者 6名）
２．支援機構あすなろ教育支援資金の助成
　助成金　　800,000円　（内訳：30年度入学者2名）
　助成決定者数　　2名　（令和元年度入学者、令和2年度から助成）

児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施（通年）

１．貸付状況
　貸付申込者数　0名　（30年度　1名）
　貸付決定者数　0名　（30年度　1名、進学者）
　貸付決定額　　0円　（30年度　生活支援費2,400,000円）
２．債権管理
　総貸付者数　　4名　（30年度　4名）
　（内訳：貸付中1名、返還済2名、就業による返還猶予中1名）
３．広報等
　県及び児童相談所、各児童養護施設等（9か所）に依頼。ホームページへの掲載。

ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施（随時　通年）

１．貸付状況
　貸付申込者数　21名（30年度　13名）
　貸付決定者数　21名（内訳：入学準備金　10名、就職準備金　11名）
　　（30年度　入学準備金　8名、就職準備金　5名）

貸付決定額　　7,200,000 円　（30 年度　5,000,000 円）

（内訳：入学準備金　5,000,000 円、就職準備金　2,200,000 円）

（30 年度　入学準備金　4,000,000 円、就職準備金　1,000,000 円）

２．貸付審査会の開催　　随時

３．債権管理

総貸付者数　62 名　（30 年度　41 名）

（貸付中 19 名、返還中 1 名、就業等による返還猶予中 42 名）

４．広報等

県及び市に依頼。ホームページへの掲載。

＜基本目標５＞　福祉力向上に向けての協働・支援
【推進項目 11】民生委員・児童委員、主任児童委員との協働・支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容
事　業　報　告
①民生委員・児童委員、主任児童委員との協働・支援
ア）研修体系の検討と研修内容の充実
民生児童委員協議会会長研修会の開催（1 回　5 月）
期日：5 月 30～31 日　　参加者数：207 名（飯坂ホテル聚楽）
【新規】新任会長研修の開催（1 回　3 月）
期日：3 月 6 日　　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
中堅民生委員・児童委員研修会の開催（3 回　8 月）
【第 1 回】期日：8 月 6 日（会津アピオ/アピオスペース）　参加者：123 名 **【第 2 回】期日：8 月 9 日（ウィル福島/アクティおろしまち）　参加者：97 名** **【第 3 回】期日：8 月 23 日（ビッグパレットふくしま）　参加者：173 名　参加者計：393 名**
【一部新規】新任民生委員・児童委員研修会の開催（6 回　12～2 月）
【第 1 回】期日：12 月 12 日（会津アピオ/アピオスペース）　参加者：313 名 **【第 2 回】期日：12 月 13 日（下郷町/ふれあいセンター）　参加者：80 名** **【第 3 回】期日：1 月 9 日（サンライフ南相馬）　参加者：153 名** **【第 4 回】期日：1 月 10 日（白河市/ＪＡ夢みなみ　セレモニープラザ）　参加者：151 名** **【第 5 回】期日：1 月 20 日（ビッグパレットふくしま）　参加者：252 名** **【第 6 回】期日：1 月 31 日（ウィル福島/アクティおろしまち）参加者：178 名　参加者計：1,127 名**
相談援助研修会の開催（3 回　6～7 月）
【第 1 回】期日：6 月 17 日（会津アピオ/アピオスペース）　参加者：217 名 **【第 2 回】期日：7 月 4 日（ウィル福島/アクティおろしまち）　参加者：173 名** **【第 3 回】期日：7 月 11 日（ビッグパレットふくしま）　参加者：293 名　参加者計：683 名**
メンタルヘルス研修会の開催（2 回　12 月・2 月）
【第 1 回】期日：12 月 24 日（ビッグパレットふくしま）　参加者：67 名 **【第 2 回】期日：2 月 13 日（新舞子ハイツ）　参加者：130 名　参加者計：197 名**
【新規】県民児協活動交流集会（1 回　3 月　全国民生委員・児童委員大会開催中止による企画）
期日：3 月 4 日（ビッグパレットふくしま）　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
イ）県民児協事業との協働・支援
指定民児協への助成（随時　通年）
１．県民児協指定 **（１）平成 30 年度・令和元年度** **会津美里町民生児童委員協議会、いわき市内郷地区民生児童委員協議会** **（２）令和元年度・２年度** **郡山市喜久田方部民生児童委員協議会、北塩原村民生児童委員協議会** **２．全民児連指定　令和元年度・２年度指定** **須賀川市第４方部民生児童委員協議会、白河市第３方部民生児童委員協議会**

互助給付事業の実施（随時　通年）

県民児協による給付件数　　計 162 件
（一般死亡 17 件、配偶者死亡 21 件、一般傷病 54 件、公務傷害 5 件、災害見舞 65 件）

ウ）県民児協の運営支援

【新規】第 88 回全国民生委員児童委員大会の開催（随時　10 月 17～18 日）

１．令和元年度 88 回全国民生委員児童委員大会「福島大会」
10 月 17 日式典・18 日活動交流集会（ビッグパレットふくしま他）
※令和元年東日本台風(台風第 19 号)により開催中止

２．実行委員会、専門部会の開催
（１）実行委員会
【第 3 回】6 月 12 日（郡山市）
【第 4 回】3 月 6 日　　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議
（２）専門部会合同会議（総務・式典部会、活動交流集会部会）
【第 6 回】5 月 17 日（郡山市）　　【第 8 回】2 月 27 日
【第 7 回】8 月 7 日（郡山市）　　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

３．説明会等
（１）大会２日目（10/18）活動交流集会事例発表リハーサル：8 月 8 日（ビッグパレットふくしま）
（２）全民児連得能会長　県知事・郡山市長への表敬訪問：8 月 27 日（県庁、郡山市役所）
（３）係員説明会：9 月 27 日（ビッグパレットふくしま）
（４）作成物等
①資料袋　　3,500 部
②主任児童委員活動ハンドブック　　9,000 部（県外 3,500 部、県内 5,500 部）
③記念品（赤ベコ・起き上がり小法師）　3,500 個
①～③は大会資料等と共に封入し都道府県・指定都市民児協等を通じ参加申込者等へ送付
④大会ＤＶＤ、歓迎横断幕、係員ベスト【作成中止】

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容
福島県民生児童委員協議会事務局運営への協力

１．会長・副会長会議
（１）期日：5 月 8 日（福島市）
内容：事業報告・決算、補正予算等
（２）期日：11 月 21 日（福島市）
内容：第 88 回全国民生委員児童委員大会「福島大会」中止後の対応、会長代行選任等
（３）期日：2 月 27 日（郡山市）
内容：補正予算、全国大会事業報告・収支決算、事業計画・予算等

２．理事会
（１）期日：5 月 17 日（郡山市）
内容：事業報告・決算、補正予算等
（２）期日：11 月 22 日（福島市）
内容：第 88 回全国民生委員児童委員大会「福島大会」中止後の対応、会長代行選任等
（３）期日：1 月 29 日（福島市）
内容：会長・副会長の選任、常務理事委嘱、会則一部改正、部会委員構成等
（４）期日：3 月 10 日付け通知　　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議
内容：会則一部改正、補正予算、全国大会事業報告・収支決算、事業計画・予算等

３．評議員会

（１）期日：5 月 17 日（郡山市）

内容：事業報告・決算、補正予算等

（２）期日：3 月 10 日付け通知　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面審議

内容：会則一部改正、補正予算、全国大会事業報告・収支決算、事業計画・予算等

４．監事監査

期日：5 月 8 日（福島市）

内容：事業報告・決算

５．部会・委員会

（１）主任児童委員活動研究委員会

【第 1 回】6 月 4 日（郡山市）

【第 2 回】1 月 24 日（郡山市）

（２）主任児童委員研修会講師打ち合わせ

【第 1 回】6 月 4 日（郡山市）

【第 2 回】12 月 20 日（福島市）

６．市町村民児協事務局会議

期日：6 月 28 日（郡山市）

市町村民児協定例会、研修会等への支援（随時　通年）

１．会津地方民生委員会長連絡会（7 月 5 日）[活動強化方策]

２．三島町・金山町・昭和村民生児童委員合同研修会（9 月 6 日）[活動強化方策]

３．西郷村民生児童委員協議会研修会（10 月 23 日）[一斉改選引継ぎ]

※令和元年東日本台風(台風第 19 号)により開催中止

４．会津美里町民生児童委員協議会研修会（10 月 28 日）[一斉改選引継ぎ]

※令和元年東日本台風(台風第 19 号)により開催中止

５．桑折町・国見町民生委員・児童委員合同研修会（11 月 6 日）[一斉改選引継ぎ]

６．いわき市新任民生委員・児童委員研修会（1 月 21 日）[委員活動・相談援助の基本]

７．白河市民生児童委員連絡協議会研修会（1 月 30 日）[活動強化方策]

８．相馬市民生児童委員協議会研修会（2 月 18 日）[活動強化方策]

９．安達地方民生児童委員連絡協議会研修会（3 月 9 日）[活動強化方策]

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

10．福島市民生児童委員協議会研修会（3 月 19 日・25 日）[活動強化方策]

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

＜基本目標５＞　福祉力向上に向けての協働・支援
【推進項目 12】地域課題の解決に向けた社会福祉法人の公益的な取組の推進

実施計画／実施項目／当年度実施内容 **事　業　報　告**
①公益的な取組の推進 ア）組織的な公益的な取組の推進 〔再掲〕総合企画委員会による推進（2 回）
【第 1 回】期日：7 月 9 日（福島市） **【第 2 回】期日：8 月 23 日（福島市）** **【第 3 回】期日：1 月 31 日（福島市）**
〔再掲〕各種会議、研修等を通じた社会福祉法人の主体的活動の支援（随時　通年）
全国社会福祉法人経営者協議会との共催セミナー **【第 1 回】期日：7 月 3 日（郡山市）　参加者：130 名** **【第 2 回】期日：1 月 17 日（郡山市）　参加者：106 名**
イ）公益的な取組の現状把握、情報提供、情報共有の推進 〔再掲〕コミュニティソーシャルワーク研修（基礎編）の開催
期日：6 月 26 日（ビッグパレットふくしま）　　参加者：38 名 **内容：講義Ⅰ「コミュニティソーシャルワークの基本的な考え方** **～個人と家族、地域をトータルにとらえた支援のアプローチ～」** **講義Ⅱ・模擬事例検討「模擬事例を通してアセスメントの視点を学ぶ」**
〔再掲〕社会福祉法人経営者協議会各地区情報交換会（通年）
「社会福祉法人の地域における公益的な取組」方部別懇談会の開催 **【県北方部】　期日：2 月 4 日（福島市）　参加者：18 法人　21 名** **【県中・県南方部】　期日：2 月 6 日（郡山市）　参加者：13 法人　17 名** **【会津・南会津方部】　期日：1 月 23 日（会津若松市）　参加者：14 法人　18 名** **【相双方部】　期日：1 月 31 日（南相馬市）　参加者：7 法人　10 名** **【いわき方部】　期日：2 月 14 日（いわき市）　参加者：5 法人　6 名**
〔再掲〕社協と施設の連携による「地域における公益的な取組」推進モデル事業の実施（随時　通年）
モデル事業指定社協 **・会津若松市社会福祉協議会** **認知症カフェを実施しているあるいは検討している法人や NPO などに対し、研修への参加、取組の呼びかけやアドバイス、市民への周知などを行った。**
〔再掲〕公益的な取組に関する調査の実施
市町村社協現況調査の実施 **調査期間：5 月 10 日～5 月 31 日（調査基準日/平成 31 年 4 月 1 日）** **対　　象：59 市町村社協**
〔再掲〕公益的な取組事例の収集及び紹介
事例収集　7 法人について、県社協ホームページに掲載

ウ）生計困難者自立支援事業の実施

〔再掲〕生活困窮者や矯正施設退所者等への緊急的支援、自立生活訓練・就労体験支援

（随時　通年）

１．生活自立サポートセンター　支援のべ件数　59 件

【県北】　16 件（診断書経費・通院交通費　等）

【県中・県南】　28 件（診断書経費　等）

【会津】　9 件（光熱水費・診察料・食糧費　等）

【相双】　6 件（光熱水費：ライフラインの確保）

２．地域生活定着支援センター

3 件（医療費・生活用品　等）

〔再掲〕生活困窮者や矯正施設退所者等への就職準備支援（随時　通年）

１．生活自立サポートセンター　支援のべ件数　53 件

【県北】　10 件（面接交通費・就労交通費　等）

【県中・県南】　31 件（就労交通費・診断書経費　等）

【会津】　3 件（就労交通費　診断書経費　等）

【相双】　9 件（就労交通費・資格証再発行費　等）

２．地域生活定着支援センター

0 件

東日本大震災及び原子力発電所事故からの復興に向けた支援活動

（１）避難者の自立に向けた支援活動

実施計画／実施項目／当年度実施内容 **事　業　報　告**
①被災者・避難者の自立に向けた支援活動 ア）生活支援相談員の階層・テーマ別研修の実施 生活支援相談員基礎研修の開催（2回　5月・10月）
【第1回】 5月14日～15日　　参加者：17名（ビッグパレットふくしま） **【第2回】11月12日～13日　　参加者：14名（南東北総合卸センター）**
主任生活支援員研修の開催（2回　7月・1月）
【第1回】　7月24日　参加者：21名（ビッグパレットふくしま） **【第2回】　1月30日　参加者：20名（ビッグパレットふくしま）**
テーマ別研修の開催（3回　6月・9月・11月）
【第1回】6月26日　参加者：62名（ビッグパレットふくしま） **【第2回】9月20日　参加者：46名（ウィルふくしま）** **【第3回】10月10日　参加者：14名（先進地研修／宮城県南三陸町社協）** **【第4回】11月21日　参加者：35名（ホテル福島グリーンパレス）**
【新規】避難者支援コーディネーター研修の開催（2回　8月・12月）
【第1回】8月7日　　参加者：20名（ビッグパレットふくしま） **【第2回】12月5日　参加者：15名（ビッグパレットふくしま）**
イ）避難元・避難先社協間及び関係機関・団体との連携 避難元及び避難先社協、関係機関・団体との地区連絡会議の開催（通年　随時）
１．地区連絡会議（県北地区・県南地区・会津地区・相双地区・いわき地区）11回 ※うち4回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止 **２．避難社協生活支援相談員全体会（南相馬市・富岡町・双葉町）20回** **３．避難者生活支援・相談センター月例報告会　4回** ※うち1回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止
被災者生活支援調整会議の開催（2回　6月・2月）
１．県域 **【第1回】7月23日（県総合社会福祉センター）** **【第2回】2月10日（ホテル福島グリーンパレス）** **２．地区** **県北地区・県中県南地区・会津地区・相双地区・いわき地区　　10回**
避難者生活再建支援システムの運用（通年）
１．システム導入社協　18社協 **２．システム利活用会議** **【第1回】4月18日（県農業総合センター）** **4月19日（原町区総合福祉センター）** **【第2回】12月11日（南東北総合卸センター）**

３．避難者情報の共有に関する合意書の締結
5月21日　浪江町・二本松市
7月9日　浪江町・郡山市
9月18日　浪江町・南相馬市
12月10日　浪江町・会津若松市
1月16日　浪江町・本宮市、大玉村
４．システムに関する説明　（延べ8社協）
５．システム導入等に関する報告会　4回

生活支援相談員等の相談活動の広報（通年　随時）

１．ホームページでの生活支援相談員の活動等を紹介
２．広報誌での生活支援相談員の活動を掲載（はあとふる・ふくしま8月号特集、3月号特集）
３．ふくしま生活支援相談員活動事例集の作成（500部）
４．ふくしま生活支援相談員サロン活動事例集の作成（500部）

市町村社協訪問等支援事業の実施（通年　6月）

１．市町村社協・生活支援相談員等活動支援（市町村社協訪問事業等）（延べ72社協）
２．市町村社協・職場研修支援　（2社協）
３．サロン活動現地調査　（延べ35社協）

福祉専門職派遣事業の実施（通年）

１．派遣社協　（3社協　6回）※うち1回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため派遣中止

ウ）「避難者自立支援中期ビジョン」の進行管理
避難者支援活動に関する調査の実施・「避難者自立支援中期ビジョン」の進行管理（通年）

１．「避難者自立支援中期ビジョン（第2期）」（計画期間：令和元年度～2年度）に係る進行管理
（１）生活支援相談員数･主任生活支援員の人数及び採用･退職･異動状況報告(毎月)
（２）生活支援相談員見守り対象世帯数等調査（毎月）
（３）生活支援相談員等の活動状況報告（毎月）
（４）生活支援相談員活動推進自動車の運行状況報告（毎月）
２．市町村社協「避難者自立支援中期ビジョン」の進行管理に係る助言等（随時）

②被災者・避難者のコミュニティ再生支援
ア）避難社協が行う帰還後のコミュニティ再生に向けた支援
〔再掲〕地域福祉活動計画の策定支援（通年　随時）

１．モデル事業指定社協
田村市社会福祉協議会、塙町社会福祉協議会、喜多方市社会福祉協議会
２．学習会の開催
期日：9月12日（県総合社会福祉センター）　参加者：33名

イ）避難先における避難者を含めたコミュニティづくり支援
〔再掲〕市町村社協地区連絡会の実施、並びにコミュニティソーシャルワーク研修の開催（通年　随時）

１．市町村社協連絡協議会　地区連絡会（5地区）
【第1回】7月～8月
【第2回】1月

２．コミュニティソーシャルワーク研修

（１）基礎編

期日：6 月 26 日　　参加者：38 名（ビッグパレットふくしま）

（２）実践編

期日：7 月 22 日・8 月 26 日　　参加者：27 名（ビッグパレットふくしま）

※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容

１．　全国・他県被災地等との会議・研修会への出席等

（１）復興公営住宅支援会議（9 回、いわき市）

（２）復興公営住宅支援会議（3 回、郡山市）

（３）生活支援相談員現地研修（6 月 24 日　岩手県宮古市）

（４）「心のケア」三県合同研修会（7 月 19 日　郡山市）

（５）復興公営住宅における心のケア研修会（4 回　いわき市、富岡町）

（６）内閣府主催支援機関向け施策集に基づく勉強会（6 月 5 日　福島市）

（７）内閣府主催「相談員合同ワークショップ」（8 月 8 日　楢葉町）

（８）みんぷく業務委託中間報告会（10 月 4 日　郡山市）

（９）いわき地区全団地懇談会（2 回　いわき市）

（10）新たな支援ツール検討ＷＧ－放射線リスクコミュニケーション－（2 回　福島市）

（11）避難者のための地域コミュニティ再整備支援事業連絡会（3 回　福島市）

（12）避難者のための地域コミュニティ再整備支援事業研修会（12 月 3 日　東京都）

（13）福島大学シンポジウム in 富岡（2 月 13 日　富岡町）

（14）福島県被災者心のケア支援事業運営委員会（2 月 18 日　福島市）

２．視察研修への協力

（１）山形県内の生活支援相談員の視察研修（6 月 19 日　南相馬市社協）

（２）南三陸町社協との交流会（3 月 13 日　ビッグパレットふくしま）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【生活支援相談員の活動状況】

○市町村社協・生活支援相談員の活動状況（3 月 1 日現在）

22 市町村社協に 166 名の生活支援相談員（主任生活支援員等含む）が配置されている。

(1) 訪問活動の状況

訪問活動において把握した支援対象者に対する延べ訪問者数（22,925 名）、様子伺い（246,204 名）、訪問したが留守（182,944 名）を合計すると 452,073 名の訪問活動を行っている。

生活支援相談員は 2 人一組での活動が主であるため、概ね 226,036 名の実訪問活動を実施している。

※（ ）内は、平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日のデータ

家族構成	訪　問　数	
	訪問者数	延べ訪問者数
① ひとり暮らし（別居の家族なし）	771 名　（957 名）	880 名（1,266 名）
② ひとり暮らし（別居の家族あり）	4,541 名（5,338 名）	5,390 名（7,007 名）
③ 高齢者・障害者のみ世帯（夫婦等）	5,739 名（5,540 名）	6,143 名（6,174 名）
④ 高齢者・障害者がいる世帯	8,601 名（7,385 名）	9,281 名（8,121 名）
⑤ 母子・父子世帯	35 名　（101 名）	40 名　（114 名）
⑥ 乳幼児がいる世帯	144 名　（273 名）	172 名　（297 名）
⑦ その他同居家族　有り	945 名（1,248 名）	1,019 名（1,367 名）
合　　計	20,776 名(20,842 名)	22,925 名(24,346 名)

(2) 訪問活動による相談受付内容

支援対象世帯への訪問活動による相談内容では、「日常生活」に関する相談が最も多く全体の 40.4 %、次いで「健康・医療」（30.8%）の順となっている。その他、「家族」や「介護」に関する相談内容がある。（複数回答）

※（ ）内は、平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日のデータ

内　　容	件数	割合（%）
1. 日常生活	21,581 件　（22,919 件）	40.4%　（36.5%）
2. 健康・医療	16,459 件　（18,512 件）	30.8%　（29.5%）
3. 介護	2,336 件　（2,463 件）	4.4%　（3.9%）
4. 家族	8,922 件　（10,419 件）	16.7%　（16.6%）
5. 制度	557 件　（995 件）	1.0%　（1.6%）
6. 金銭問題	280 件　（486 件）	0.5%　（0.8%）
7. 法律	27 件　（81 件）	0.1%　（0.1%）
8. 就労	624 件　（1,195 件）	1.2%　（1.9%）
9. 住居	2,084 件　（4,865 件）	3.9%　（7.7%）
10. 放射能問題	191 件　（199 件）	0.4%　（0.3%）
11. その他	372 件　（698 件）	0.7%　（1.1%）
合　計	53,433 件　（62,832 件）	※小数点以下第 2 位を四捨五入

東日本大震災及び原子力発電所事故からの復興に向けた支援活動
（２）被災地における福祉・介護人材確保支援

実施計画／実施項目／当年度実施内容

事　業　報　告

①奨学金貸付制度の利用促進

ア）奨学金貸付制度の周知・広報活動の充実

ポスター掲示、広告掲載等の周知広報及び介護福祉養成校、ハローワーク訪問による広報活動の実施（随時　通年）

１．貸付の実施

（１）貸付申込件数　21 件

（２）貸付決定件数　21 件

（研修受講料 2 件、就職準備金 21 件、世帯加算 0 件、自動車等輸送費用等加算 0 件）

（３）貸付決定額　　10,425,280 円

２．面接時の交通費助成の実施

（１）決定件数　13 件

（２）助成決定額　130,660 円

３．職場体験・見学に対する交通費助成の実施

（１）決定件数　6 件

（２）助成決定額　90,400 円

４．貸付・就職等に関する相談対応

（１）相談対応件数　延べ 328 件

（貸付案内送付、求人情報送付、電話相談対応、メール相談対応、来所など）

（２）求職登録者への求人情報等の提供（毎月 1 回、延べ 204 名）

５．広報活動の実施

（１）相双地域等の施設・事業所へのパンフレット等送付　692 カ所

（２）介護福祉士養成校、関係機関等へのパンフレット等送付　1,029 カ所

（３）事業周知のための訪問活動

①介護福祉士養成校等訪問　10 校

②ハローワークへの訪問　県外 35 カ所、県内 9 カ所

③その他関係機関等への訪問　県外 13 カ所、県内 4 カ所

（４）就職フェア・イベント等への参加

①福祉人材センター主催の合同就職説明会への出展

7 月 7 日　　福島県・福島市　（相談者 0 名）

7 月 15 日　　福島県・郡山市　（相談者 1 名）

7 月 21 日　　福島県・会津若松市　（相談者 0 名）

7 月 27 日　　福島県・いわき市　（相談者 4 名、うち求職登録 4 名）

8 月 10 日　　福島県・南相馬市　（相談者 3 名、うち求職登録 1 名）

11 月 7 日　　山形県　（相談者 3 名）

2 月 11 日　　福島県・福島市　（相談者 0 名）

2 月 24 日　　福島県・郡山市　（相談者 0 名）

②民間企業主催の就職フェア（カイゴジョブフェスタ）への出展

6 月 7 日　　札幌会場　（相談者 5 名）

6 月 16 日　　東京・秋葉原会場　（相談者 48 名）

7 月 2 日　　大宮会場　（相談者 25 名、うち求職登録 4 名）

7月7日　　横浜会場　（相談者31名、うち求職登録3名）
8月23日　　千葉・幕張会場　（相談者16名、うち求職登録3名）
9月3日　　東京・池袋会場　（相談者21名）
9月10日　　横浜会場　（相談者27名、うち求職登録1名）
10月4日　　大宮会場　（相談者21名）
10月18日　　東京・町田会場　（相談者24名、うち求職登録1名）
11月27日　　千葉・松戸会場　（相談者23名）
12月15日　　福岡会場　（相談者12名、うち求職登録2名）
12月20日　　大阪会場　（相談者23名、うち求職登録3名）
1月30日　　名古屋会場　（相談者17名、うち求職登録2名）
2月14日　　京都会場　（相談者18名）
2月22日　　広島会場　（相談者6名）
3月15日　　東京・有楽町会場　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

③民間企業主催の就職フェア（カイゴジョブフェスタ）未出展の会場において参加者配布資料へのパンフレット等同梱　20会場
※うち3会場は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

④福島くらし&しごとフェア（主催：福島県）への参加
11月17日　　東京交通会館（相談者13名、うち求職登録5名）

⑤ふくしま大交流フェスタ（主催：福島県）への参加
12月21日　　東京国際フォーラム（相談者8名）

（5）東京メトロ主要駅へのポスター掲示（160駅）
（6）ＪＲ各社、私鉄の主要駅へのポスター掲示（160駅）
（7）新聞広告掲載　6月掲載（7都県、10新聞社）
（8）避難者への情報提供・相談
①都内避難者向け定期便での情報提供（東京都総務局）10回
②県外避難者へのパンフレット送付（福島県避難者支援課経由）12,770部
③被災者生活支援調整会議（主催：福島県避難者生活支援・相談センター）での事業周知（5月～6月、県内5ヶ所）
④福島県被災者見守り・相談支援調整会議（主催：福島県避難者生活支援・相談センター）での事業説明（7月23日）
（9）専用ウェブサイトでの情報発信（随時更新）
貸付制度紹介、対象施設・事象所案内、イベント案内、ブログ、県外からの就職者紹介、対象エリアの地域情報提供など

6．啓発資料等の作成
（1）貸付事業パンフレット、ポスター等の作成
①パンフレット作成　県外居住者用36,000部、県内避難者用5,000部
②リーフレット「ふくしまで、咲こう。」作成　1,200部
③ポスター「ふくしまで、咲こう。」作成　B1：415枚、B2：700枚、A3：750枚
（2）イベント用備品・配布物の作成
①配布用クリアファイルの作成　A4：1,000枚、A5：1,000枚
②配布用除菌ウェットシートの作成　2,000個
（3）福島県・介護の仕事ＰＲ動画「Smile&Smile」作成　ＤＶＤ（20枚、中国語版10枚、ベトナム語版10枚）、ホームページ掲載
（4）福島復興エリア生活ガイドブック「キラリふくしまライフ」の作成　10,000部

7．会議への出席
8月7日　双葉郡等避難地域の医療等提供体制検討会（主催：福島県保健福祉部）

イ）相双地域等の介護保険施設等との連携強化

県内外での事業説明及び施設見学・交流バスツアー等の実施（随時　通年）

１．相双地域等の施設等訪問

貸付制度及び申請手続き等説明のための法人・施設等訪問　39 カ所

２．福祉のお仕事発見バスツアーの実施

【第 1 回】7 月 27 日（東京発～いわき市）　参加者：19 名

チラシ 2,000 枚・ポスター150 枚作成・配布

【第 2 回】8 月 10 日（仙台発～南相馬市）　参加者：16 名

チラシ 1,000 枚・ポスター50 枚作成・配布

【第 3 回】9 月 28 日（東京発～楢葉町）　参加者：27 名

チラシ 2,500 枚・ポスター150 枚作成・配布

【第 4 回】11 月 16 日（東京発～いわき市）　参加者：23 名

チラシ 2,000 枚・ポスター150 枚作成・配布

【第 5 回】2 月 22 日（東京発～いわき市）　※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

チラシ 2,200 枚・ポスター150 枚作成・配布

３．県外就職者交流会の実施

【第 1 回】2 月 4 日（楢葉町・Ｊヴィレッジ）　参加者：5 名

【第 2 回】2 月 7 日（楢葉町・Ｊヴィレッジ）　参加者：9 名

４．調査の実施

「被災地における福祉・介護人材に対する奨学金貸付事業」に関するアンケート調査

回答期間：9 月 1 日～9 月 12 日

調 査 数：470 施設

回 答 数：137 施設

回 収 率：29.1％

５．福島県宅地建物取引業協会との住まい情報の提供に関する覚書の締結

相双地域等の住まい情報に関する相談・情報提供件数

いわき支部　問い合わせ件数 0 件 ／ 物件紹介件数 0 件

相双支部　　問い合わせ件数 0 件 ／ 物件紹介件数 0 件

組織基盤

実施計画／実施項目／当年度実施内容

事　業　報　告

①適正な法人運営

ア）理事会・評議員会・監事会機能の充実

理事会（5回）　評議員会（4回）　監事会（1回）　副会長会（2回）評議員選任・解任委員会（2回）
会計監査人による監査（9回）

１．理事会

【第1回】

期日：4月1日（県総合社会福祉センター）

内容：副会長の選任、常勤役員の選任

【第2回】

期日：6月7日（県総合社会福祉センター）

内容：事業報告、一般会計決算、生活福祉資金会計決算、諸規程の一部改正、
評議員選任・解任委員会委員の選任、評議員会の招集

【第3回】

期日：6月24日（県総合社会福祉センター）

内容：会長及び副会長の選定、常勤役員の選任

【第4回】

期日：11月7日（県総合社会福祉センター）

内容：令和元年台風19号における災害対応報告、事業中間報告、
一般会計第一次補正予算(案)、生活福祉資金会計第一次補正予算(案)、諸規程の一部改正、
評議員選任・解任委員会委員の選任、評議員候補者の選任、評議員会の招集

【第5回】

期日：3月12日　※新型コロナウィルス感染拡大防止のため書面審議

内容：令和元年台風19号における災害対応報告、令和元年度一般会計第二次補正予算(案)、
令和元年度生活福祉資金会計第二次補正予算(案)、令和2年度事業計画(案)、令和2年度一般会計当初予算(案)、令和2年度生活福祉資金会計当初予算(案)、諸規程の一部改正及び制定(案)、内部管理体制基本方針(案)の制定、契約、評議員会の開催

２．評議員会

【第1回】

期日：6月24日（県総合社会福祉センター）

内容：事業報告、一般会計決算、生活福祉資金会計決算、諸規程の一部改正、
理事及び監事の選任

【第2回】

期日：11月21日（県総合社会福祉センター）

内容：令和元年台風19号における災害対応報告、事業中間報告、評議員選任・解任委員会の報告、
一般会計第一次補正予算(案)、生活福祉資金会計第一次補正予算(案)

【第3回】

期日：3月23日　※新型コロナウィルス感染拡大防止のため書面審議

内容：令和元年台風19号における災害対応報告、令和元年度一般会計第二次補正予算(案)、令和元年度生活福祉資金会計第二次補正予算(案)、令和2年度事業計画(案)、令和2年度一般会計当初予算(案)、令和2年度生活福祉資金会計当初予算(案)

３．監事による監査

【第１回】

期日：5 月 27 日（県総合社会福祉センター）

内容：事業報告、一般会計及び生活福祉資金特別会計決算

４．副会長会議

【第１回】

期日：3 月 4 日（ビッグパレットふくしま）

内容：令和元年台風 19 号における災害対応報告、令和元年度一般会計第二次補正予算(案)、令和元年度生活福祉資金会計第二次補正予算(案)、令和 2 年度事業計画(案)、令和 2 年度一般会計当初予算(案)、令和 2 年度生活福祉資金会計当初予算(案)、諸規程の一部改正及び制定(案)、内部管理体制基本方針(案)の制定、契約、評議員会の開催

５．評議員選任・解任委員会

【第１回】

期日：11 月 15 日（県総合社会福祉センター）

内容：委員長の選任、評議員の選任

６．会計監査人による監査

（１）平成 30 年会計年度

【期末監査】　期日：5 月 13 日～15 日

【監査結果報告会】　期日：5 月 27 日

（２）平成 31 年（令和元年）会計年度

【経営者ディスカッション】　期日：8 月 7 日

【内部管理体制の確認・期中取引テスト・統制テスト】

①期日：8 月 7 日～8 日

②期日：10 月 7 日～8 日

③期日：11 月 6 日

④期日：11 月 25 日～26 日

⑤期日：2 月 6 日～7 日

⑥期日：3 月 16 日

【決算ヒアリング】　期日：3 月 16 日

イ）専門機関の活用

専門家等の指導による組織の安定化と適正な法人運営（随時　通年）

適正な法人運営のため、社会保険労務士や公認会計士等の連携

ウ）福島県総合社会福祉センターの運営

センター入居団体連絡会議の開催（1 回　4 月）

センター入居団体連絡会議及び自衛消防会議の開催（4 月 26 日）

防災訓練の実施（1 回　11 月）

期日：12 月 4 日　　内容：避難訓練、煙体験

②危機管理体制の強化

ア）個人情報保護の徹底

「個人情報保護に関する方針」及び「個人情報取扱業務概要説明書」の周知・徹底（随時　通年）

個人情報取扱業務概要説明書の改正（4 月）

イ）苦情解決体制の充実

要望・苦情に対する組織的な対応（随時　通年）

随時

③会員制度

ア）一般会員の加入促進

未加入事業所への加入促進（随時　通年）

新規会員施設・事業所：17 施設･事業所（13 施設･事業所）　　※(　)内前年度末

令和元年度末会員数：1,049 施設･事業所（1,044 施設･事業所）

イ）特別賛助会員の加入促進

特別賛助会員加入の積極的な勧奨（随時　通年）

新規会員：2 件（3 件）　　※(　)内前年度末

令和元年度末会員数：353 件（356 件）

財政基盤

実施計画／実施項目／当年度実施内容
事　業　報　告
①安定的な財政基盤の確立 ア）適正な補助金・受託金の確保 〔再掲〕次年度に向けた補助金・受託金確保のための予算要望活動（2回　8～9月）
１．県議会各会派への制度要望及び政策提言活動の実施 **期　日：9月3日** **会　派：自由民主党福島県議会議員会、福島県議会県民連合議員会、** **公明党福島県議会議員団、日本共産党福島県議会議員団** **２．令和2年度予算編成に対する県保健福祉部への要望活動** **期　日：9月5日** **提出先：県保健福祉部**
イ）自主財源の確保 会費収入や斡旋・紹介手数料等の確保（随時　通年）
〔再掲〕・新規一般会員施設・事業所：17ヵ所 **〔再掲〕・新規特別賛助会員：2件** **・自動車リース新規契約：32台** **・福祉関係書籍の斡旋（4月・7月・1月）** **・保険商品の斡旋（8月）** **・はあとふる･ふくしまにおける企業等広告掲載（5～3月）** **・ホームページバナー広告掲載（1月～3月）**
民間資金の活用（随時　通年）
・はあとふる･ふくしま発行事業（共同募金配分金8,260,000円） **・第22回ふくしまボランティアフェスティバル開催事業（同1,160,000円）** **・台風19号被害に伴う災害支援活動拠点事務所支援事業（同10,054,382円）**
※推進項目に関し、活動推進計画にある事業計画・内容のほかに実施する内容 福島県総合社会福祉センターの建替等についての検討（随時　通年）
１．未来構想委員会における検討 **期　日：1月6日** **〔再掲〕２．令和2年度予算編成に対する県保健福祉部への要望活動** **期　日：9月5日** **提出先：県保健福祉部**

事務局体制

実施計画／実施項目／当年度実施内容
事　業　報　告
①事務局体制の充実強化 ア）事務局組織・分掌事務の検証 効果的な事務局組織の検討（随時　通年）
１．未来構想委員会の開催 **1 月 6 日「事務決裁規程の改正について」他**
イ）職員の資質向上 研修計画に基づいた個人及び全体研修の実施（随時　通年）
１．個人研修計画の実施（計画策定 5 月） **２．研修委員会の開催** **4 月 26 日「平成 31 年度の職場研修について」** **３．全体研修の実施** **6 月 27 日「職員会計講座①（会計処理）」** **7 月 2 日「職員会計講座②（報酬・旅費計算）」** **7 月 31 日「相談援助技術の基本」** **４．都道府県・指定都市社会福祉協議会新任職員研修会の受講：1 名（7 月 10 日～12 日　神奈川県）** **５．都道府県・指定都市社会福祉協議会管理職員研修会の受講：1 名（10 月 8 日～10 日　神奈川県）**
※推進項目に関し、活動推進計画にある実施計画・内容のほかに実施する内容 全国・ブロック会議・研修会等への参加
全国・ブロック会議・研修会等への参加 **１．都道府県･指定都市社協常務理事･事務局長セミナー（8 月 1 日～2 日・神奈川県）** **２．北海道・東北ブロック社協・共募事務局長合同会議（9 月 24 日～25 日・青森県）** **３．北海道・東北ブロック道県・指定都市社協総務部課長会議（1 月 7 日・書面開催）**
第４期活動推進計画の評価・第５期活動推進計画の策定
１．策定準備委員会の開催 **1 月 14 日「第４期活動推進計画の確認／活動推進計画策定のスケジュール／第４期活動推進計画の評価の手法」** **２．第４期活動推進計画の事務局評価の実施**
危機管理対応の検討・実施
１．危機管理委員会の開催 **2 月 27 日「新型コロナウイルス感染症における対応／クレーム及び苦情対応／緊急連絡体制／情報セキュリティ」** **２．新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる対応** **①新型コロナウイルス感染症にかかる社会福祉法人福島県社会福祉協議会が開催するイベント・研修・会議等の対応及び福島県総合社会福祉センター研修室貸出中止に関する指針（2 月 25 日）** **②社会福祉法人福島県社会福祉協議会が開催するイベント・研修会・会議等における新型コロナウイルス感染症への対応について（2 月 25 日）** **③新型コロナウイルス感染症感染拡大防止等の本会の対応について（3 月 16 日）** **④福島県社会福祉協議会における新型コロナウイルス感染症予防策について（3 月 16 日）** **⑤新型コロナウイルス感染症にかかる情報のホームページ掲載（2 月 25 日以降随時）**

衛生委員会の開催（12 回　毎月）

4 月 10 日　「職員衛生委員会の役割／平成 31 年度活動計画（案）」
5 月 8 日　「平成 30 年度有給休暇取得状況の確認／休み時間に実施するストレッチ」
6 月 5 日　「夏季に向けた職場環境の改善」
7 月 3 日　「ストレスチェックの実施・要綱改正／健康に関する職員研修のテーマ」
8 月 7 日　「職員アンケート（ハラスメント）の内容／清掃の日」
9 月 9 日　「職員の健康に関する研修会　～目の健康について～」
10 月 2 日　「ストレスチェックの集計結果について／職員アンケートの集計結果について」
11 月 6 日　「冬季に向けた職場環境の改善・感染症対策について／作業環境測定の実施について」
12 月 4 日　「職場におけるメンタルヘルスについて」
1 月 8 日　「作業環境測定の結果について／健康診断結果（速報版）の分析について」
2 月 5 日　個別相談会
3 月 11 日　「令和 2 年度年間計画について／新型コロナウイルス感染症への対応について」

＜令和元年東日本台風(台風第 19 号)災害に係る県内での支援活動＞

１．県内の被害状況

※令和元年台風第 19 号等による被害状況速報【第 91 報】(令和 2 年 3 月 27 日　福島県災害対策課）より抜粋

（１）人的被害

・死者　37 人　　・重傷者　1 人　　・軽傷者　58 人

（２）住家被害

・全　　壊　1,489 棟　　・半　　壊　12,560 棟　　・一部破壊　6,977 棟

・床上浸水　1,161 棟　　・床下浸水　443 棟

（３）非住家被害

・公共建物　42 棟

・そ の 他　8,812 棟

２．福島県社会福祉協議会災害対策本部の状況

福島県社協では、発災直後の 10 月 13 日（日）に各市町村社協や施設法人等の被害状況を調査するとともに、県社協災害対策本部を設置した。特に被害の大きい市町村社協へは県社協職員を派遣し、現地調査を実施した。

（１）災害対策本部の役割

①市町村災害ボランティアセンターの立ち上げや運営支援

②市町村災害ボランティアセンターの広報

③市町村災害ボランティアセンターコーディネーターの派遣

④市町村災害ボランティアセンターが必要とする資機材等の手配・配布

⑤社会福祉施設への支援物資等の手配・配布

（２）他機関からの支援

災害対策本部設置時より、日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会（以下「ＪＣ」という。）や災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（以下「支援プロジェクト」という。事務局：中央共同募金会）から支援者の派遣協力を受けた。

（３）資機材の確保

①資機材の調達及び配布

ＪＣの協力を得て資機材を調達し、市町村災害ボランティアセンターへ配布。以下のほか消耗資機材を配布した。

資機材	数量
高圧洗浄機	65 台
土嚢袋	11 万 7,200 枚
パソコン、プリンター	各 10 台
ボランティアシール（※）	1 万 300 枚

※ボランティア受付時に発行するシールで、活動中衣服に張り付け、災害ボランティアセンターより派遣されたボランティアであることを明示するもの。

②資機材のマッチング

関係機関や企業等からの寄贈・貸与の資機材のマッチングを行い、市町村災害ボランティアセンターへ配布した。

資機材	提供元	数量
Ｗｉ-Ｆｉルーター	ＫＤＤＩ	12 台
スマートフォン	ＫＤＤＩ	70 台
パソコン及び無線ＬＡＮ等	中央共同募金会	5 台

（4）ボランティアバスの運行及びボランティア募集

日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会、福島青年会議所、福島商工会議所青年部、ライオンズクラブ国際協会３３２-D地区等の協力のもと運行した。

①10 月 26 日（土）

【運行 1】　発着：会津若松市　　活動場所：郡山市、本宮市

【運行 2】　発着：白河市　　活動場所：いわき市

②10 月 27 日（日）

【運行 1】　発着：会津若松市　　活動場所：郡山市、本宮市

【運行 2】　発着：白河市　　活動場所：いわき市

③11 月 3 日（日）

【運行 1】　発着：福島市　　活動場所：川俣町

④11 月 9 日（土）

【運行 1】　発着：福島市　　活動場所：南相馬市

ボランティア活動者合計：のべ 66 名

（5）ボランティアバスのマッチング支援

県内外の団体等が企画したボランティアバスの運行にあたり、県内市町村災害ボランティアセンターとのマッチングを行った。

・マッチング件数 ： のべ 16 団体

（6）災害対策本部の広報

①ホームページ、ＳＮＳを用いた広報の実施

②プレスリリースの発信

３．市町村災害ボランティアセンターの状況

（1）最多設置時数　　16 市町村（59 市町村のうち）

【県　北】福島市、二本松市、伊達市、本宮市、川俣町

【県　中】郡山市（※1）、須賀川市、田村市、鏡石町、三春町、石川町、玉川村、浅川町

※1　令和元年 12 月 2 日より生活支援ボランティアセンターへ移行、令和 2 年 2 月 1 日から郡山市台風 19 号生活支援・地域ささえあいセンターへ移行。

【相　双】相馬市、南相馬市

【いわき】いわき市（※2）

※2　令和 2 年 2 月 28 日をもって閉所。以降はボランティア活動センターで業務引継。

（2）ボランティア活動実績（令和 2 年 2 月 21 日現在　本会把握分）

①ボランティア活動参加者：のべ人数合計 26,461 名

②主な活動内容：泥出し、片付け、家具洗浄　等

（３）他社協から支援及び他機関からの支援（※生活福祉資金は別記）

市町村災害ボランティアセンターの立上期以降は、県内市町村社協による災害時の相互支援協定に基づき、市町村社協及び県社協より、のべ 665 名の応援職員が市町村災害ボランティアセンターの運営支援のため派遣された。更に、北海道・東北ブロック及び近畿ブロック管内社協の協力により、のべ 1,041 名の応援職員が派遣され、運営支援活動を行った。

また、災害対策本部同様、支援プロジェクト及びＪＣから支援者の派遣協力を受けた。

①県内社協の連携支援

市町村災害ボランティアセンターへの運営職員の派遣協力　　（※県社協は巡回支援を含む。）

県社協	市町村社協	合計
のべ 171 名	のべ 494 名（33 社協）	のべ 665 名

②北海道・東北ブロック社協からの支援

市町村災害ボランティアセンターへの運営職員の派遣協力

※道県社協からの派遣は市町村社協職員を含む。

	派遣社協・人数
本宮市災害ＶＣ	秋田県 30 名
相馬市災害ＶＣ	札幌市 20 名
いわき市災害ＶＣ	北海道 122 名、札幌市 94 名、青森県 302 名、秋田県 94 名
合　計	のべ 662 名

③近畿ブロック社協からの支援職員派遣のべ人数

市町村災害ボランティアセンターへの運営職員の派遣協力

※府県社協からの派遣は市町村社協職員を含む。

	派遣社協・人数
伊達市災害ＶＣ	兵庫県　36 名
郡山市災害ＶＣ	滋賀県・京都府・大阪府・和歌山県・兵庫県・奈良県・ 京都市・大阪市・堺市・神戸市　343 名
合　計	のべ 379 名

４．社会福祉施設への支援

（１）社会福祉施設被災状況調査の実施

調査期間	調査施設数
10 月 13 日～10 月 18 日	経営協 163 法人、障がい協 118 施設、地域包括協 104 事業所 児童部会 15 施設、母子部会 3 施設

経営協、建物被災法人数：県北 4 法人、県中 3 法人、相双 1 法人、いわき 4 法人※断水被害を除く。

（２）救援物資の受入・配布（ＪＣ、全国経営協青年会）

主な救援物資等：飲料水、布団、タオル、衣類　など

５．生活福祉資金緊急小口資金（特例貸付／台風）の状況

台風第 15 号及び第 19 号による被災者で、当座の生活費を必要とする世帯を対象とした特例貸付の申込受付を 11 月 11 日（月）より開始した。（伊達市、本宮市、川俣町、郡山市、いわき市社協は、11 月 18 日（月）から開始。）

なお、申込受付は、令和 2 年 3 月 31 日（火）をもって終了した。

（１）県社協からの職員派遣

申込受付は市町村社協が行うことから、運営支援のため伊達市社協へ職員を派遣した。

（２）他府県等の社協からの職員派遣協力

※府県社協からの派遣には市町村社協職員を含む。

	派遣社協・のべ人数
伊達市社協	近畿ブロック（兵庫県、奈良県）10 名
本宮市社協	東北ブロック（山形県）2 名 近畿ブロック（滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、京都市）22 名
郡山市社協	東北ブロック（青森県、山形県）40 名 近畿ブロック（大阪府、和歌山県）12 名
いわき市社協	九州･沖縄ブロック（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）44 名
合　計	のべ　130 名

（３）貸付決定件数及び決定額（11 月 11 日～3 月 31 日）

貸付決定件数：123 件

貸付決定額：15,530,000 円

６．資金面の支援

（１）本会への支援（令和 2 年 2 月 25 日現在）

１２企業・団体より寄付 12,075,326 円を受納。

（２）市町村社協への支援

東北労働金庫様の寄付を原資に助成金交付。

災害ボランティアセンター設置社協　　１３社協　計 8,000,000 円

応援職員派遣社協　　３４社協　計 1,635,000 円

７．国への要望活動

令和 2 年 1 月 31 日に全社協主導のもと他の台風被災県社協とともに、内閣府及び被災県選出国会議員に対し要望活動を実施した。災害ボランティアセンターの設置・運営、基盤整備費用、応援職員にかかる経費の公費負担等について連名で要望書を提出した。

＜新型コロナウイルス感染拡大に係る本会の対応＞

（注）新型コロナウイルスに関する対応は現在も続いておりますが、以下は 3 月末日までの取組を記載するものです。

１．生活福祉資金（特例貸付／新型コロナウイルス）の状況

新型コロナウイルス感染症発生の影響により一時的に収入が減少した世帯や失業した世帯を対象に、生活福祉資金貸付制度の福祉資金（緊急小口資金）の特例貸付を令和 2 年 3 月 25 日より開始した。

＊緊急小口資金（特例貸付）貸付の状況（3 月 31 日現在）

・貸付決定件数　　49 件

・貸付決定金額　　7,660,000 円

２．本会主催の各種会議及び研修会について

新型コロナウイルス感染症の影響により、止むを得ず中止や延期を決定した会議・研修会等については、本会のホームページ等も活用し周知を行った。なお、介護支援専門員実務研修受講試験（3 月 8 日）のように中止・延期が困難な事業については、感染拡大防止策を講じたうえで実施した。

また、理事会及び評議員会、各種委員会等は、書面審議による決議などの対応をとった。

３．本会における感染防止策について

新型コロナウイルスの感染防止のため、職場においても定期的な換気や消毒などを徹底するとともに、個々の職員もこまめな手洗いや手指消毒の励行に努めた。

また、時差出勤や通勤手段の変更などを奨励し、できることから職員の安全性に配慮した取組を進めた。